



2026年度

仲田橋

福山市神辺町地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=48.0m	
	橋長	L=48.0m	
	有効幅員	W=4.0m	
	ひび割れ補修工	L=1.0m	
	断面修復工	A=15m ² (V=0.8m ³)	
	表面保護工	A=350m ²	
	塗替塗装工	A=325m ²	
	橋面改良工	A=190m ²	
	防護柵工	L=96.0m	
	仮設工	一式	

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（仲田橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和8年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事は河川管理者との協議により、2026年（令和8年）6月16日から2026年（令和8年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。
受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第8節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 工事支障物件

- ・調査項目：水道配管位置確認
- ・調査時期：工事施工前に移設の有無等の確認を行うこと。
- ・提出書類：受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：吊り足場等

第6節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第7節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08. 08. 01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	08 鋼橋架設工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0. 04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 【材料種類】	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m以下の場合		構造物			S1020035 00
断面修復工	1	構造物			単第0 -0001 表 Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.772m3		構造物			S1020041 00
	1	構造物			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	0.8	m3			SPK26040155 00 単第0 -0003 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	1.8	t			T9005 00
表面保護工	1	式			Y1G032406 レベル3
表面被覆工		橋			Y1G03240601 レベル4
下地処理工 サンダーケレン	350	m2			F0000000005 00
表面被覆工 被覆材塗布 高分子系浸透性防水材（アイゾールEX相当品	350	m2			V000000100 00 単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
橋梁塗装工					Y1G032501 レベル3
	1	式			
塗膜除去工					Y1G03250101 レベル4
		m2			
塗膜除去工 湿式塗膜剥離工					F0000000007 00
	322	m2			
湿式塗膜剥離剤 中性型水系剥離剤ECO STRIPPER相当品					F0000000008 00
	241	kg			
塗膜除去工 廃材の回収・積込					F0000000009 00
	322	m2			
素地調整 【素地調整種類】					Y1G03250101 レベル4
		m2			
塗替塗装 清掃・水洗い					SDT00029 00
	325	m2			単第0 -0005 表
塗替塗装 素地調整					SDT00029 00
	325	m2			単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250102 レベル4
塗替塗装 下塗り塗装 防食下地	325	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
塗替塗装 下塗り塗装	325	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
中塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250103 レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	325	m2			SDT00029 00 単第0 -0009 表
上塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250104 レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	325	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
廃材運搬工 【殻種別】		m3			Y1G03271601 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
廃材運搬費					F0000000015 00
	1	回			
ペール缶 天蓋取り外し式バンドタイプ 20L					F0000000032 00
	26	個			
焼却・溶融処理費 【殻種別】					Y1G03271602 レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
特管汚泥 廃塗膜					F0000000016 00
	370	kg			
廃プラスチック類 作業服等					F0000000017 00
	59	kg			
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
薄層舗装工					Y1E020414 レベル3
	1	式			
薄層舗装 【舗装色, 規格・仕様】					Y1E02041405 レベル4
		m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路面洗浄工 耐摩耗性型複合薄層遮水性舗装に伴う	190	m2			V000000200 00 単第0 -0011 表
耐摩耗型複合薄層遮水性舗装 1橋当り70m2以上 スーパーロメンパッチDN工法	190	m2			V000000300 00 単第0 -0012 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
地覆工	1	式			Y1G032104 レベル3
目地充填工（地覆） 【形状寸法】		m			Y1G03210401 レベル4
シール材充填工 L=4.8m	1	箇所			V000000400 00 単第0 -0013 表
橋梁用防護柵工	1	式			Y1G032105 レベル3
防護柵撤去工		m			Y1G03210501 レベル4
防護柵撤去工(Gr) コンクリート建込 Ap, Bp, Cp(支柱間隔2m)	97	m			SS000127 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1G03271603 レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)	2	t			SPK26040410 00 単第0 -0015 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑 (ヘビーH3)	2	t			F0000000020 00
防護柵設置工		m			Y1G03210501 レベル4
防護柵設置工 ベースプレート式	1	式			V000000500 00 単第0 -0016 表
橋名板等取付 橋名板 300×150×15	4	枚			SPK26040294 00 単第0 -0019 表
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y1G032816 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場 【作業区分, 基礎形式, 高さ】		m			Y1G03281602 レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	207	m2			S3030011 00 単第0 -0020 表
床面シート張防護 A=342m ²	1	式			F0000000031 00
足場工(朝顔) (床版補強工) 両側朝顔	221	m 2			S3030013 00 単第0 -0021 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	221	m 2			S3030015 00 単第0 -0022 表
防護工(床版補強工) 板張防護工 両側朝顔	221	m 2			S3030015 00 単第0 -0023 表
塗膜除去用養生シート工	342	m2			V000000600 00 単第0 -0024 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03282101 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	34	人			
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ09001 レベル3
	1	式			
呼吸用保護具等費用					YZZ09001002 レベル4
		式			
全面マスク 電動ファン付呼吸用保護具					F0000000025 00
	3	台			
呼吸用保護フィルター 全面マスク用フィルター V3					F0000000026 00
	39	個			
使い捨て化学防護服 化学防護服マイクロガード 2500PLUS XLサイズ					F0000000027 00
	39	着			

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
化学防護手袋 ニトリル 37-176 Lサイズ 17092	39	双			F0000000028 00
シューズカバー SC2000L ロングタイプ フリーサイズ	39	足			F0000000029 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費					
計算情報……					
対象額………					当初請対額
率……………					当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
計算情報……					
対象額………					
率……………					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

図面番号 1/25 縮尺 S=1:10000

工種 橋梁修繕工事

種別 位置図

橋梁名称 仲田橋

施工箇所 福山市神辺町地内

位置図

S=1/10,000

福山市

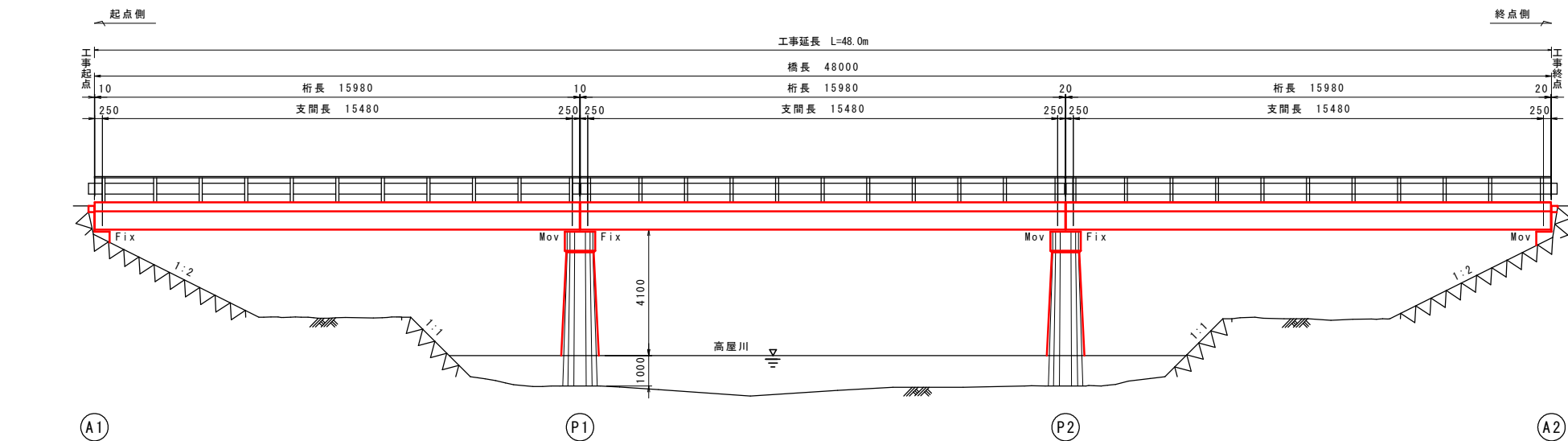
令和8年度

国補

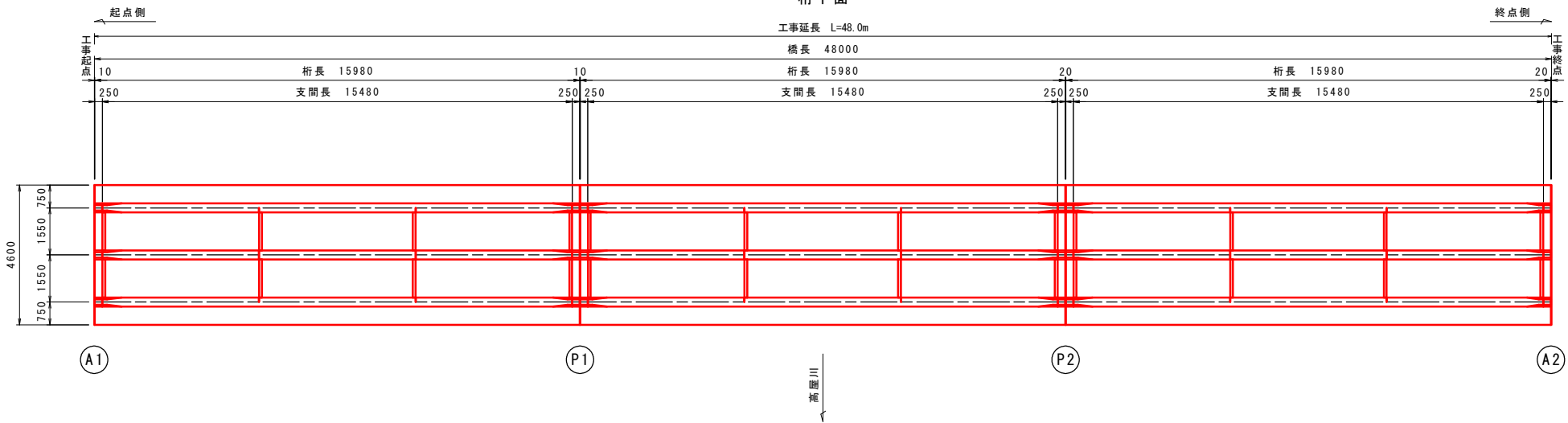


橋梁一般図

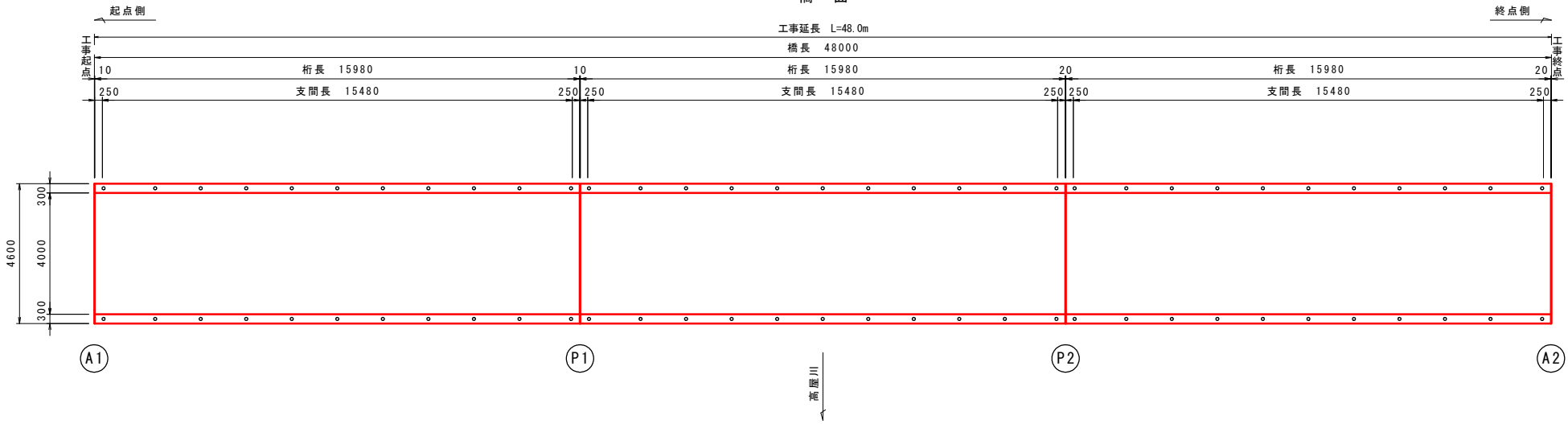
側面図 S=1:100



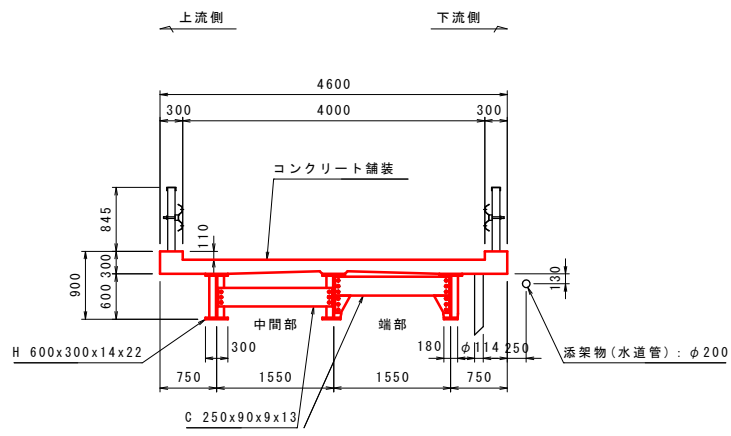
平面図 S=1:100



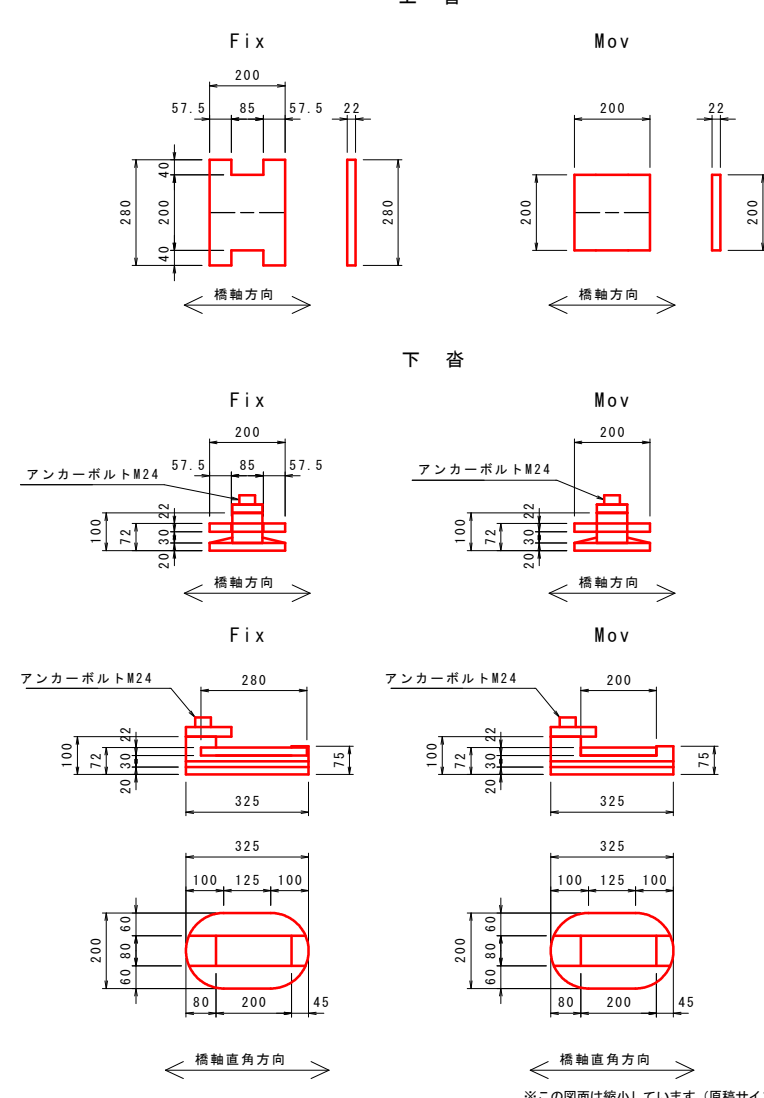
平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



支承詳細図 S=1:10

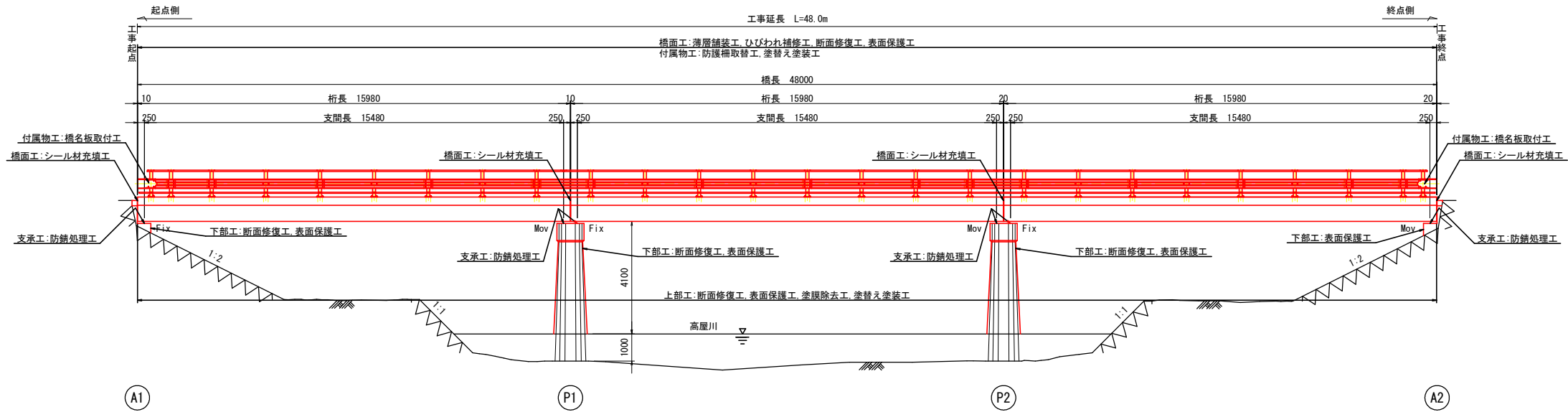


※この図面は縮小しています(原稿サイズ A1)

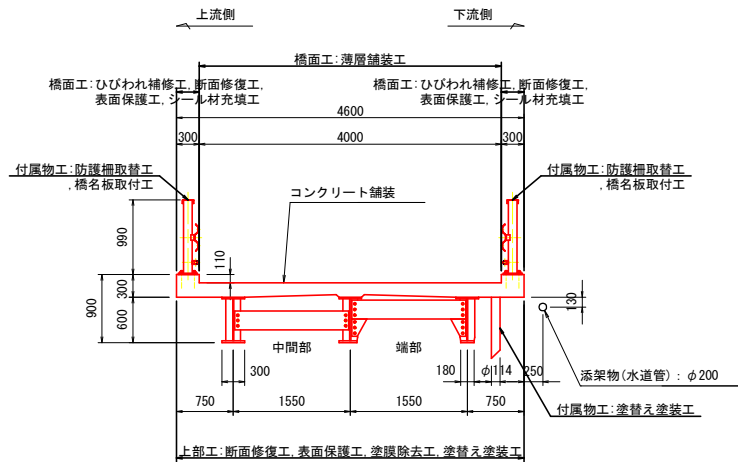
工事名	橋梁修繕工事(仲田橋)		
図面名	橋梁一般図		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修計画一般図

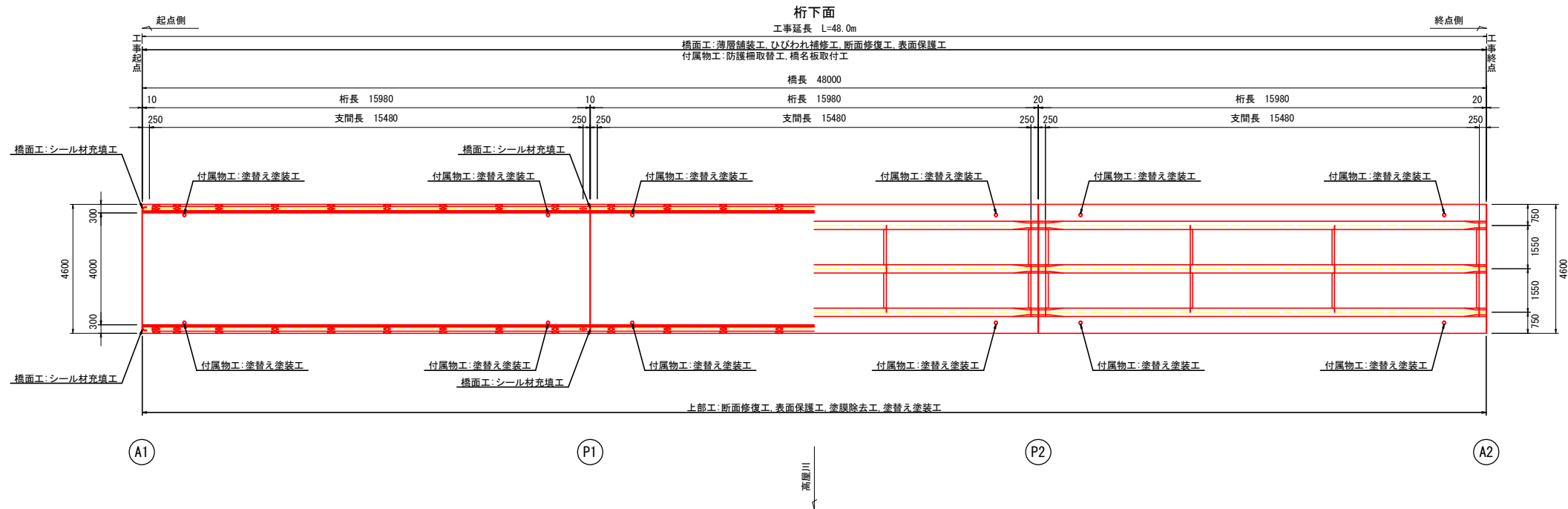
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



対策工法一覧表

- × シール材充填工
- × 薄層舗装工
- × ひびわれ補修工
- × 断面修復工
- × 表面保護工
- × 塗膜除去工
- × 塗替え塗装工, 支承防錆工
- × 防護柵取替工
- × 橋名板取付工
- × 仮設足場工
- 吊足場
- 朝顔防護足場

※この図面は縮小しています(原稿サイズ A1)

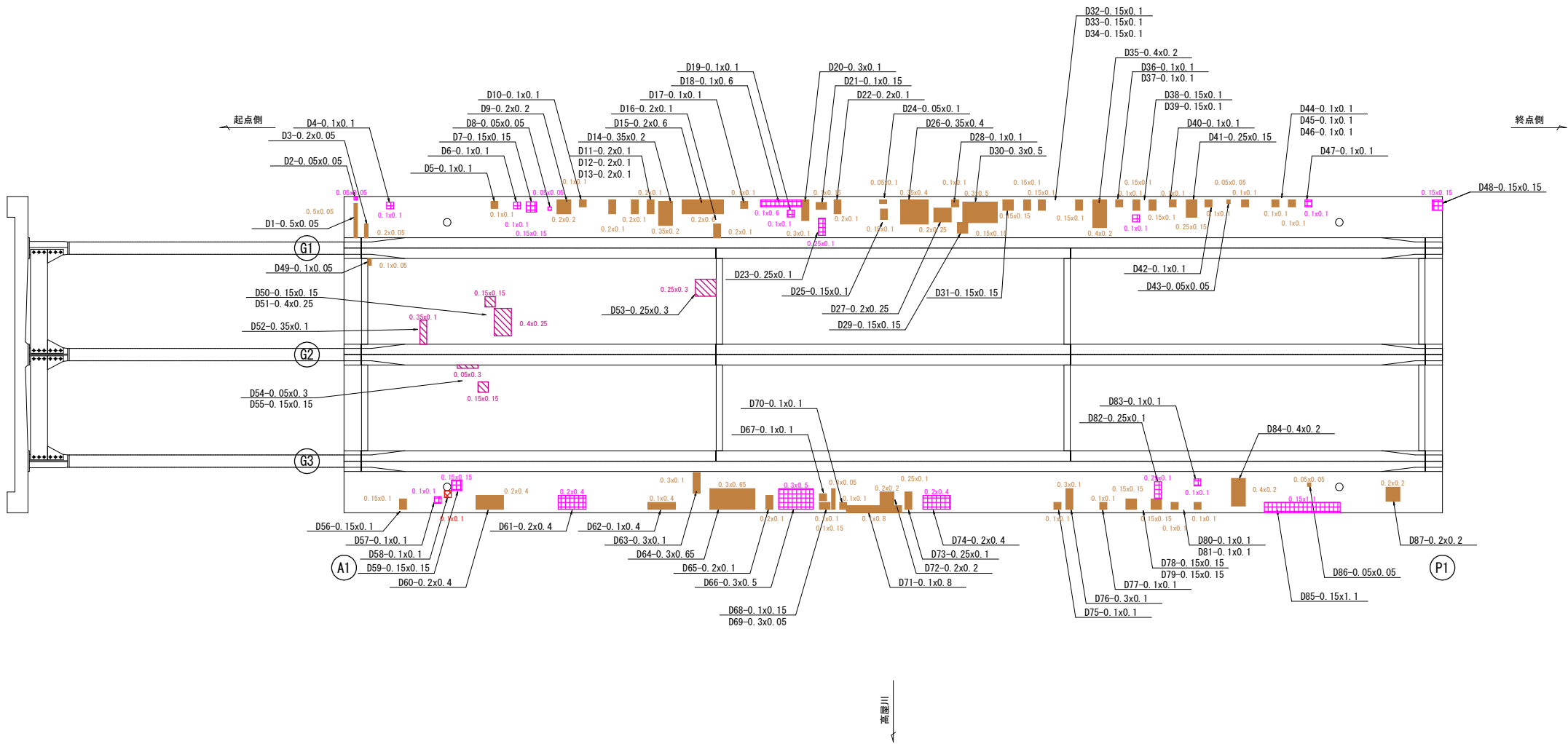
工事名	橋梁修繕工事(仲田橋)		
図面名	補修計画一般図		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その１）

S=1:40

断面修復工

桁下面 1径間



凡 例

補修工法	
D	断面修復工 (SSI工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

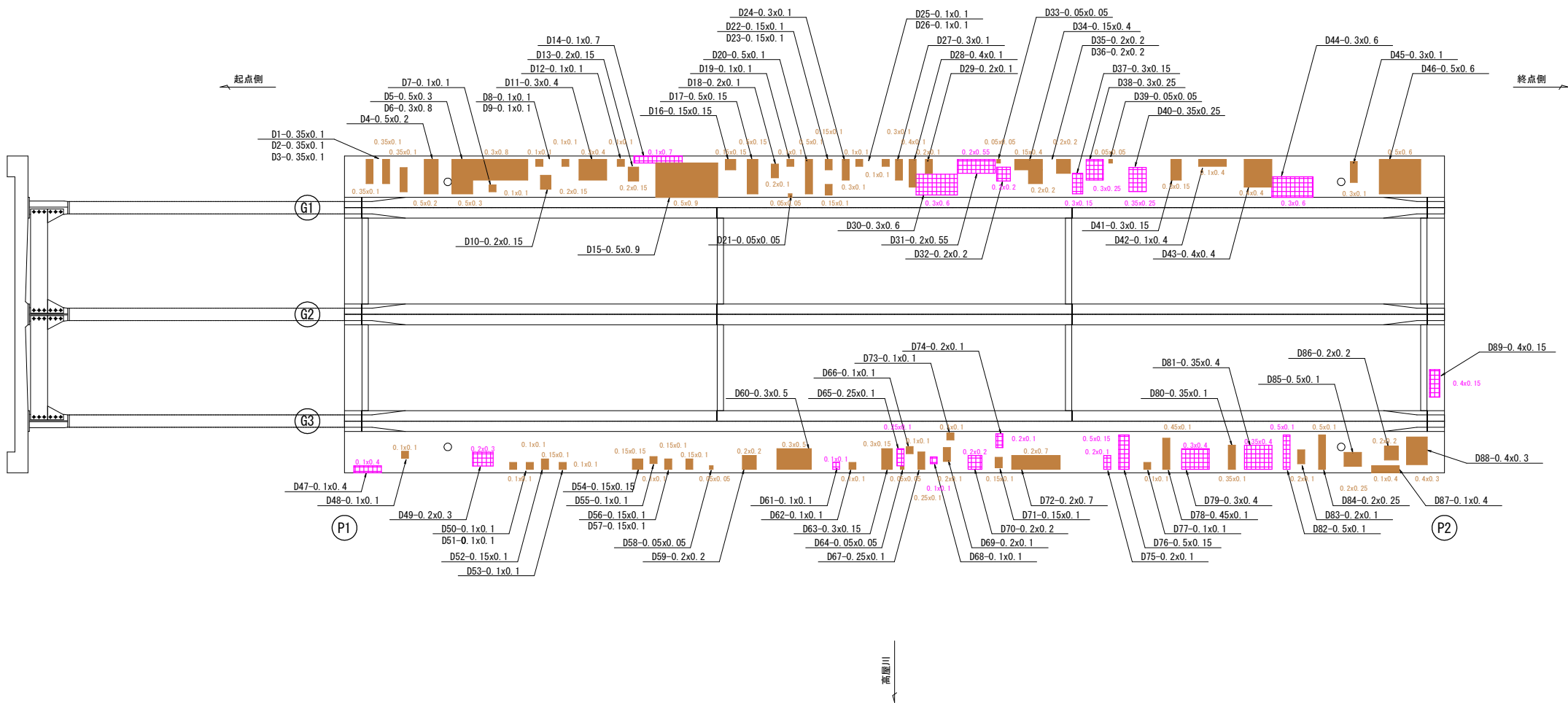
工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その１）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その2）

S=1:40

断面修復工

桁下面 2径間



凡 例

補修工法	
D	
断面修復工 (SSI工法)	
補修工法 補修番号-補修幅x補修幅	

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

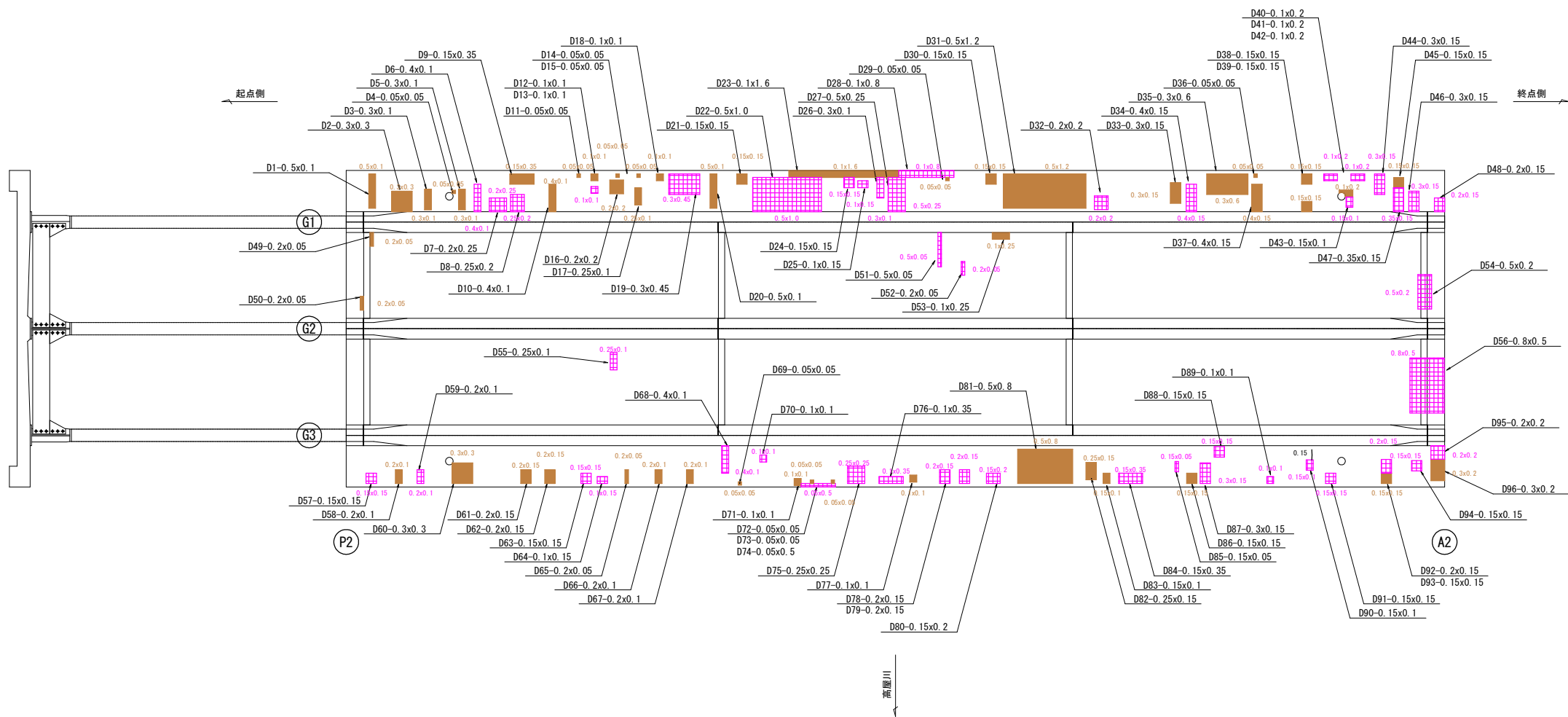
工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その2）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 26
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その3）

S=1:40

断面修復工

桁下面 3径間



凡 例

補修工法	
D	
断面修復工 (SSI工法)	
D0-0.00x0.00 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅	

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その3）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

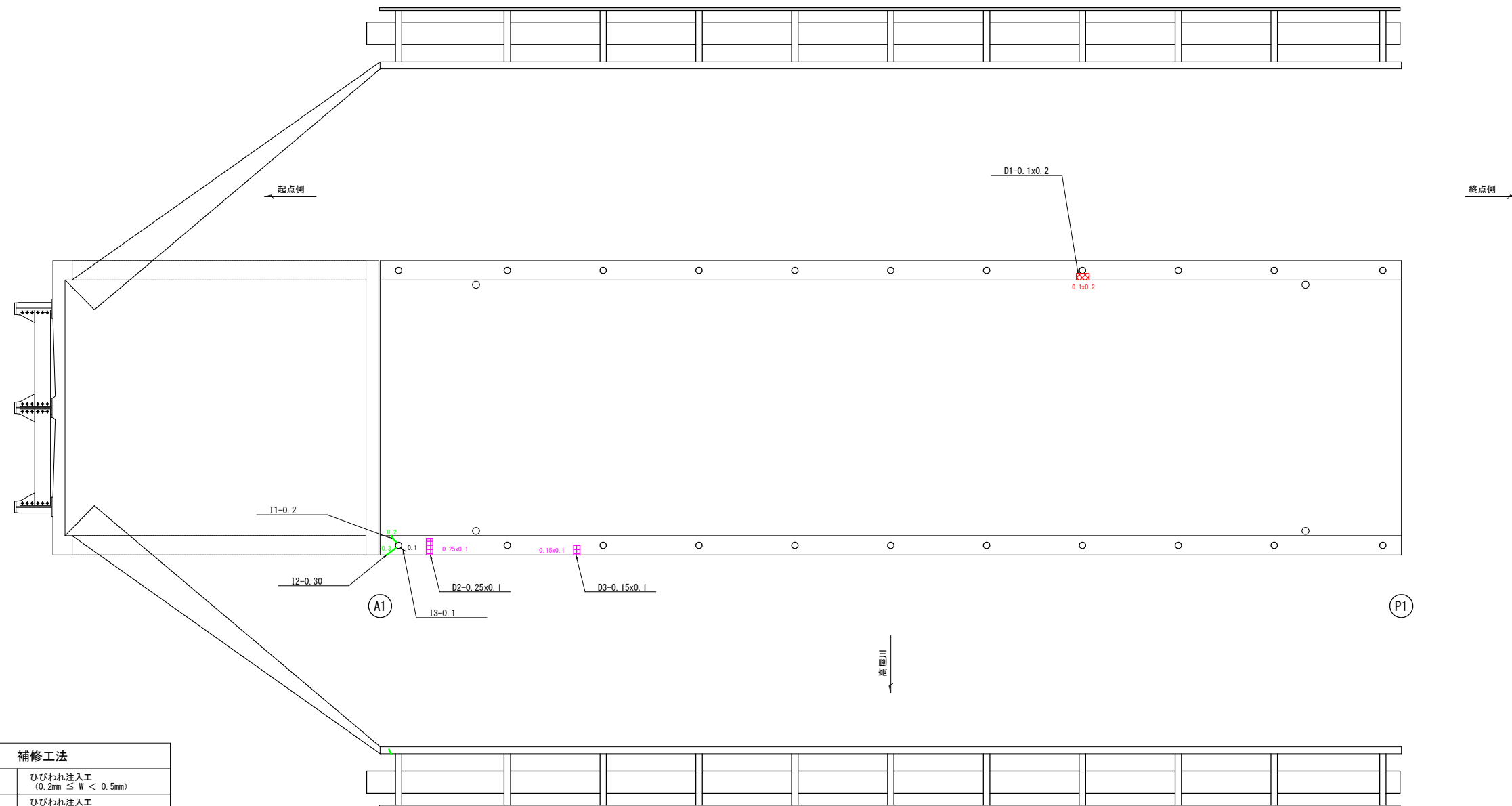


補修図（その４）

S=1:40

断面修復工, ひびわれ補修工

橋 面 1径間



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
D		断面修復工 (SS1工法)
10-0.00/0.00		補修工法 補修番号-幅/補修延長
D0-0.00x0.00		補修工法 補修番号-補修幅x補修延長

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆりみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その４）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

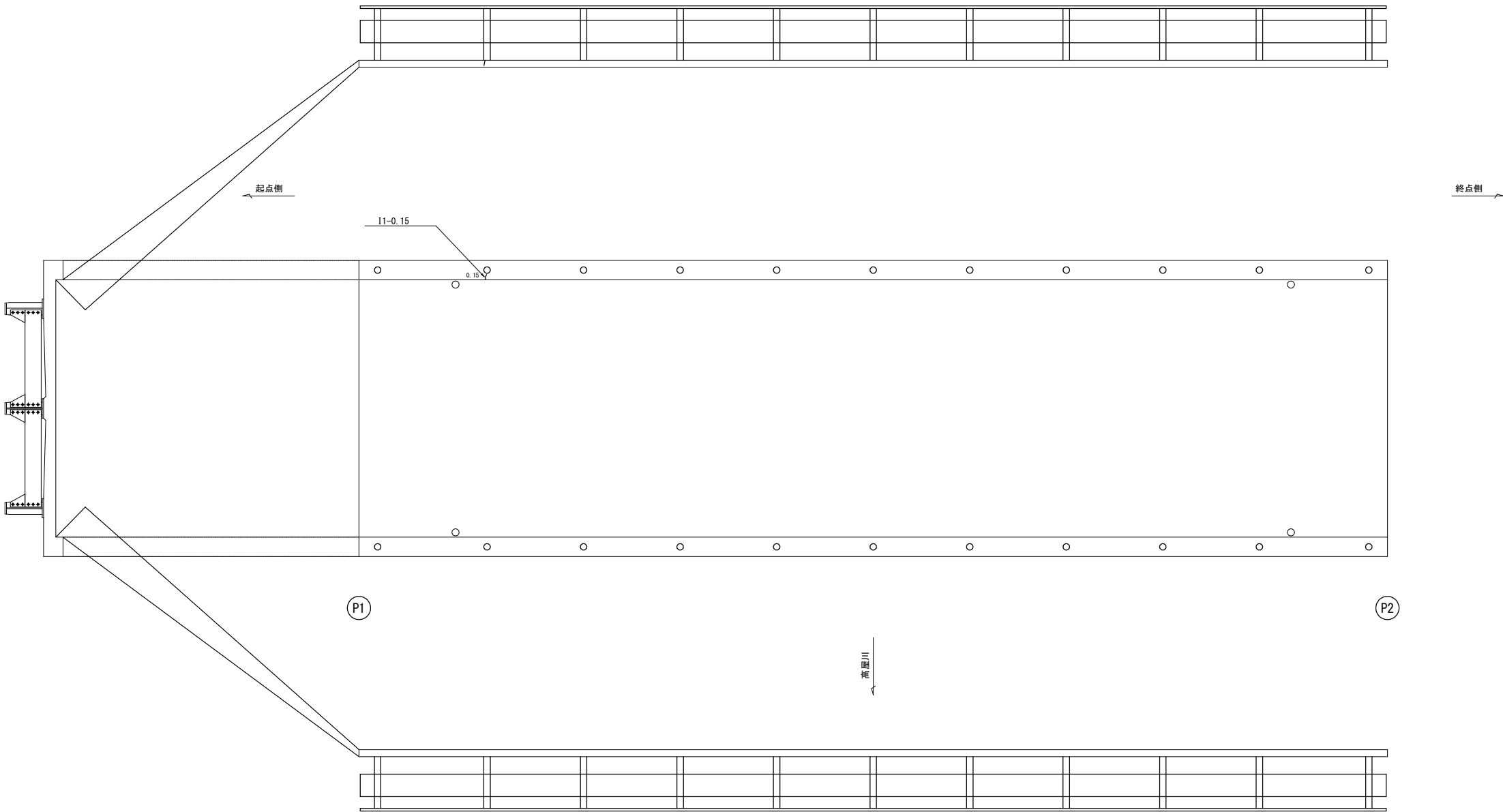


補修図（その5）

S=1:40

ひびわれ補修工

橋 面 2径間



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
00-0.00x0.00		補修工法 補修番号 補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その5）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

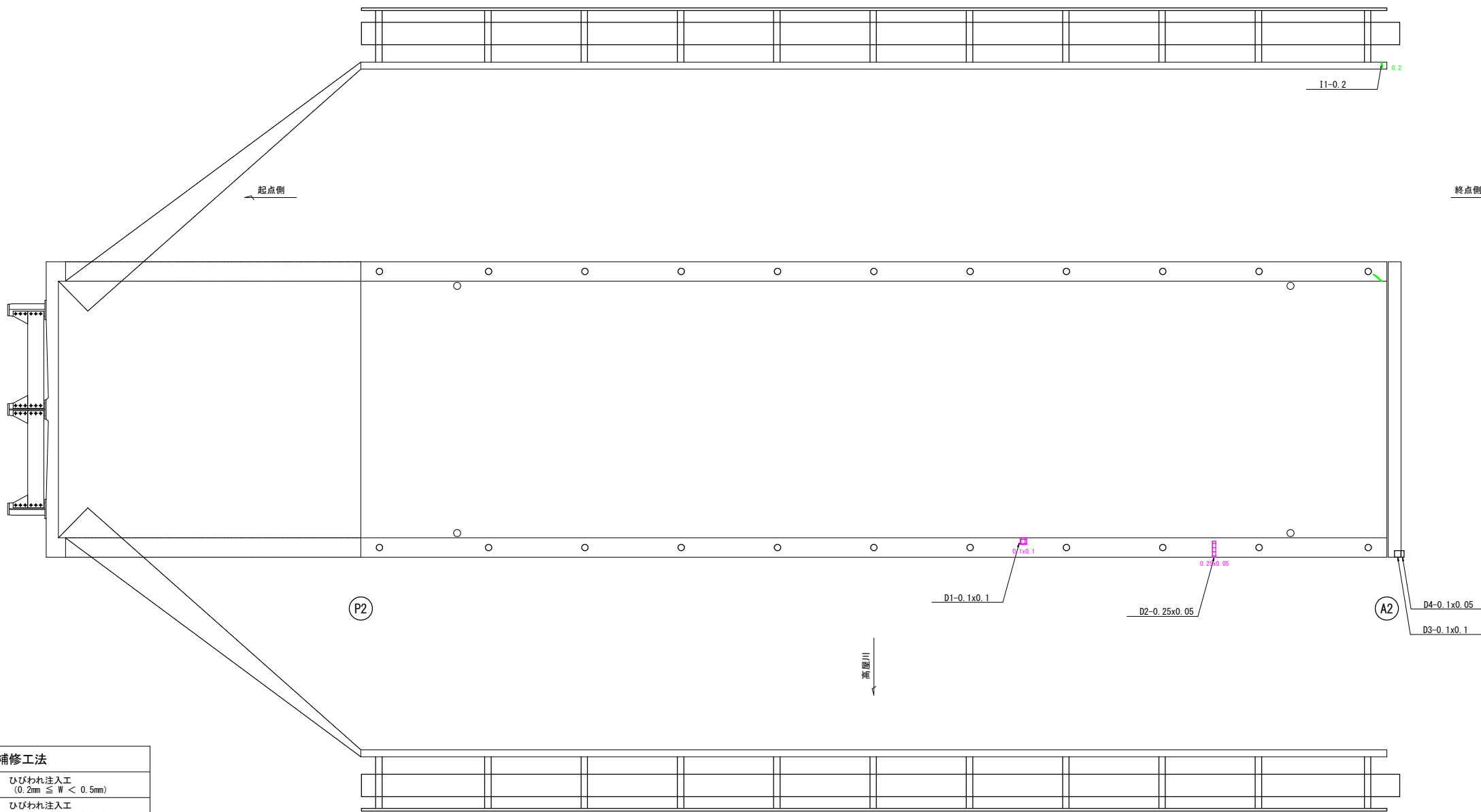
国 補

補修図（その6）

S=1:40

断面修復工, ひびわれ補修工

橋 面 3径間



凡 例

補修工法	
I	ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
I	ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
I	ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
D	断面修復工 (SS1工法)
補修工法 補修番号-幅/補修延長 補修工法 補修番号-補修幅x補修幅	

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その6）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その7）

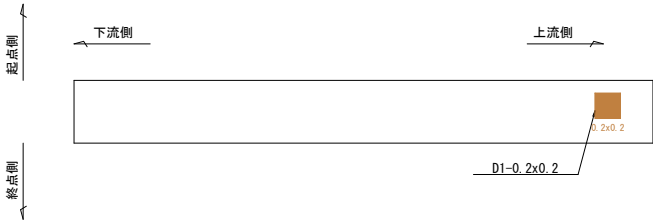
S=1:30

A1橋台

変 状 凡 例

	長さ (m)	ひびわれ（開口幅0.1~0.5mm未満）
	長さ (m)	ひびわれ（開口幅0.5~1.0mm未満）
	幅・長さ (mm) (m)	ひびわれ（開口幅1.0mm以上）
	長さ (m)	遊離石灰を伴うひびわれ
	縦 x 横 (m) (m)	うき
	縦 x 横 (m) (m)	剥離
	縦 x 横 (m) (m)	鉄筋露出
	縦 x 横 (m) (m)	豆板
		遊離石灰
		漏水・伝い水
		その他

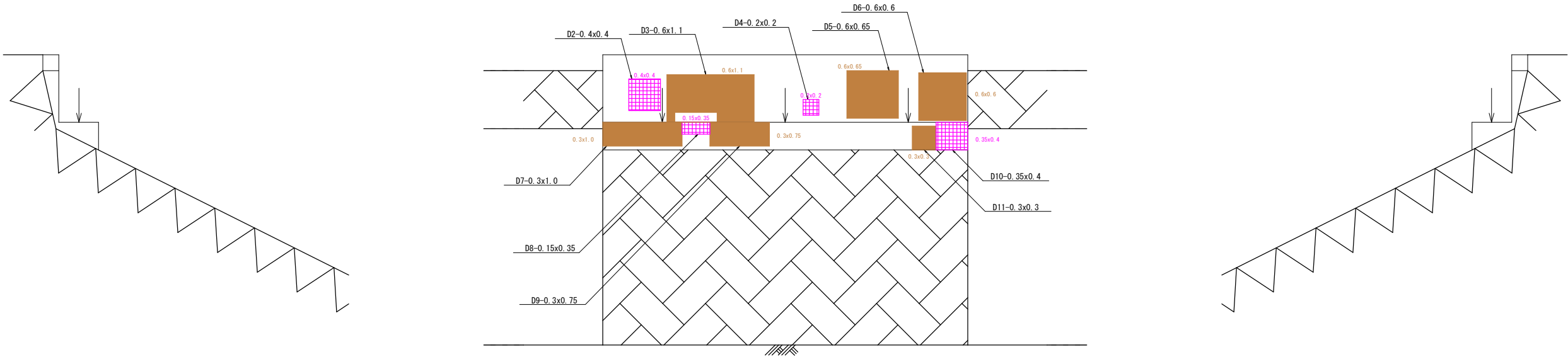
橋座面



下流側

正 面

上流側



凡 例

補修工法	
D	断面修復工 (SSI工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。



※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

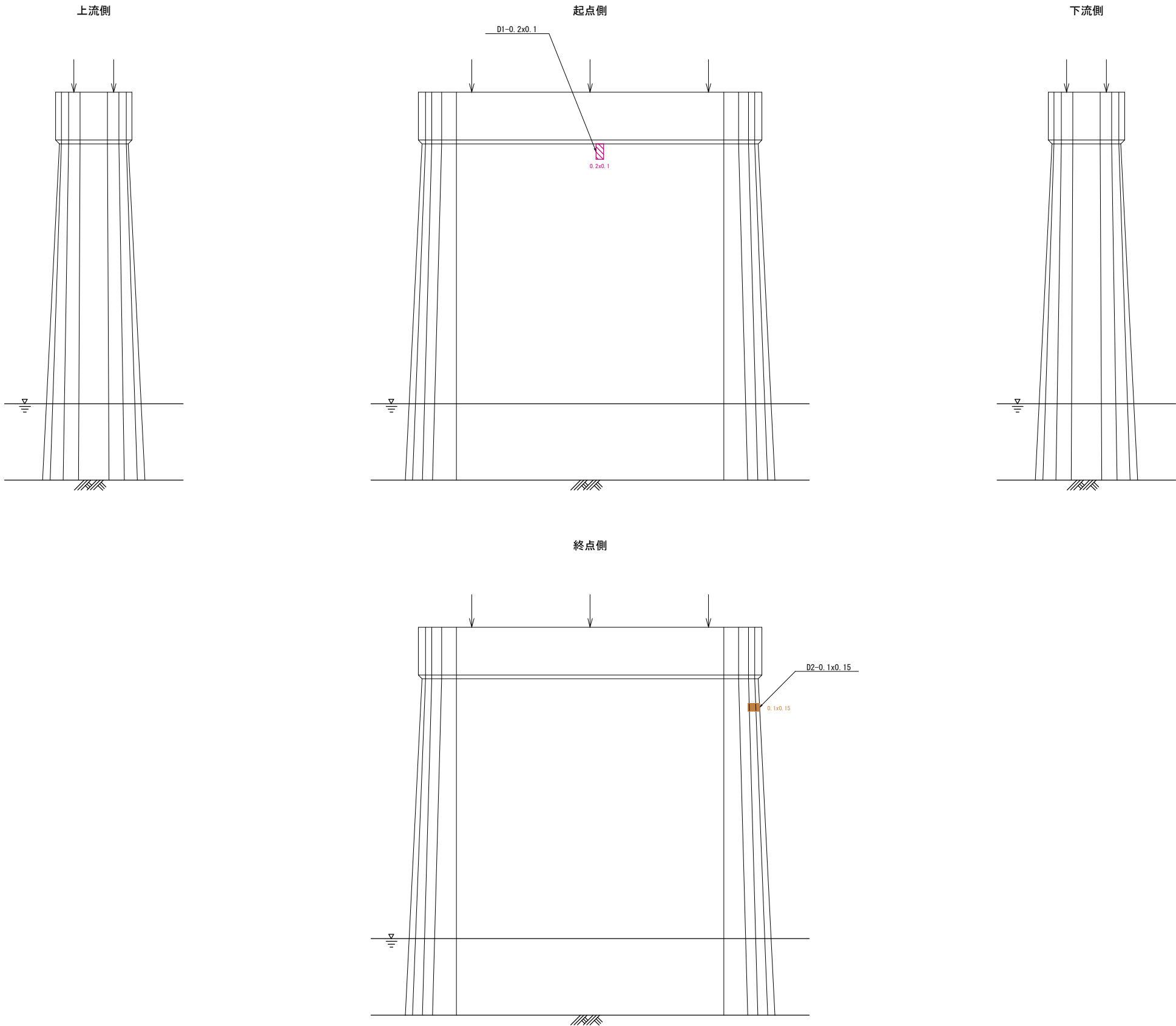
工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その7）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その 8）

S=1:30

P1橋脚

断面修復工



凡 例

補修工法	
D	
断面修復工 (SSI工法)	
D0-0.00x0.00	
補修工法 補修番号-補修幅x補修幅	

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その 8）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	11 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

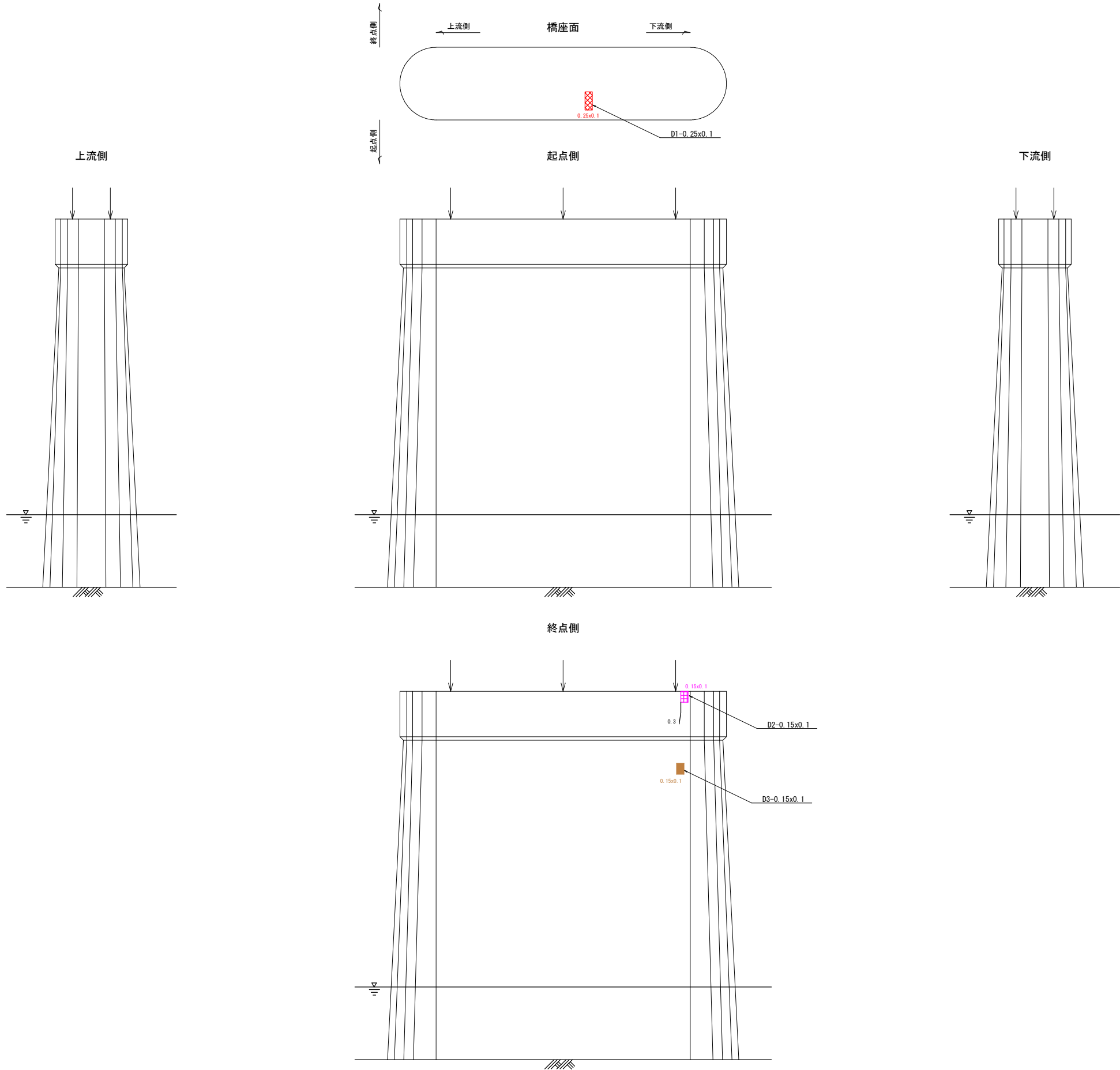
国補

補修図（その 9）

S=1:30

P2橋脚

断面修復工



凡 例

補修工法	
D	断面修復工 (SSI工法)
00-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。

※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

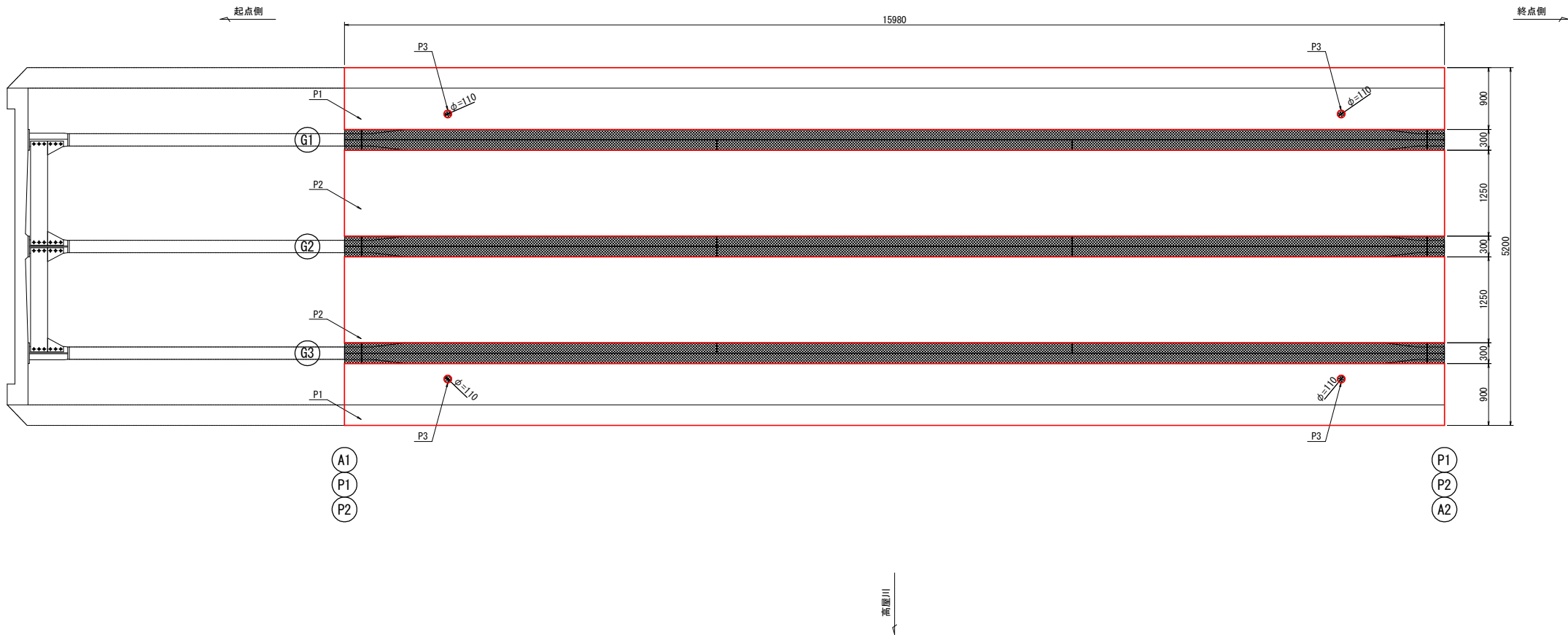
工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その 9）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その１０）

S=1:40

表面保護工

桁下面 1径間～3径間共通



凡 例

P		表面保護工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/㎡以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。



※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

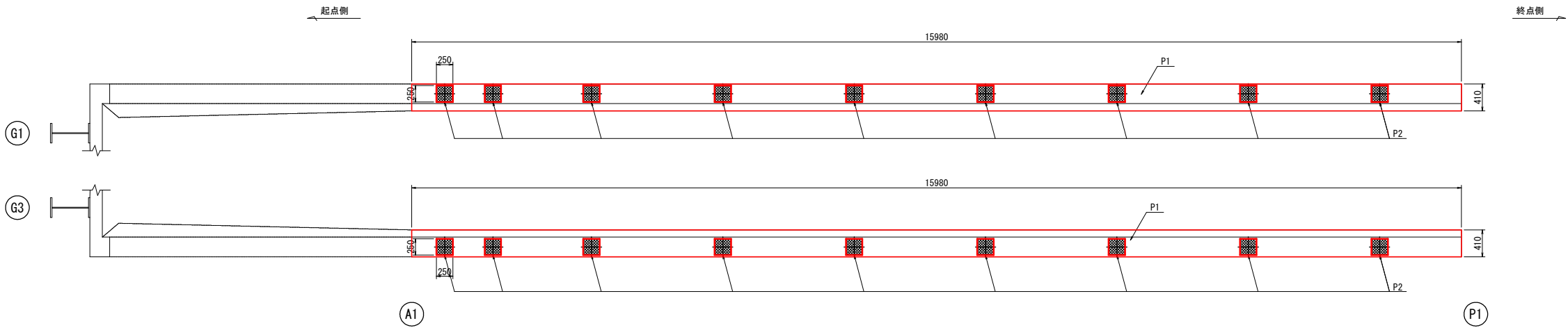
工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その１０）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その 1 1）

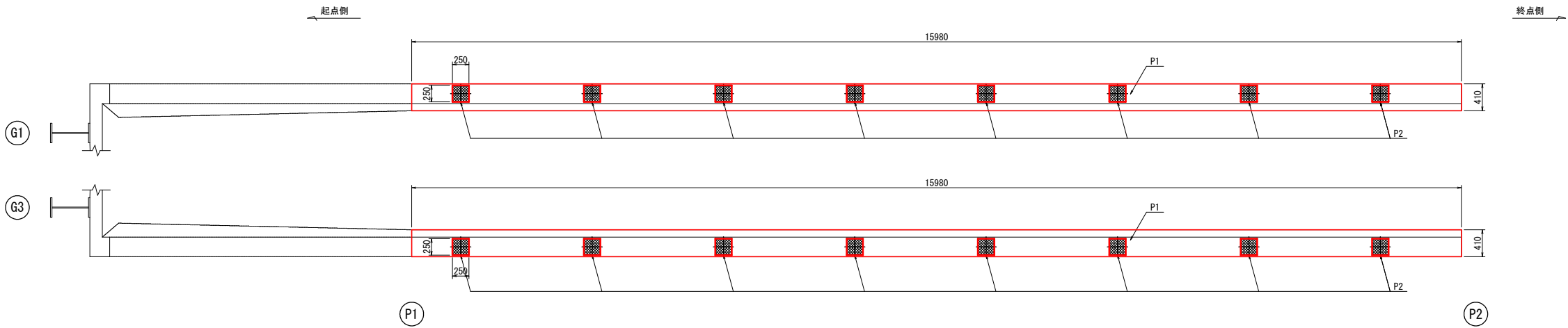
S=1:40

表面保護工

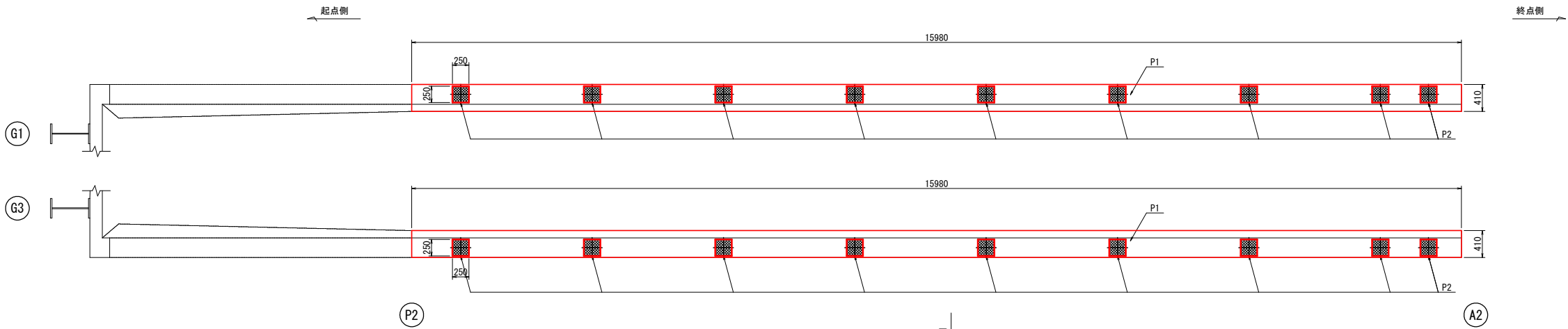
地 覆 1径間



地 覆 2径間



地 覆 3径間



凡 例

P		表面保護工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/㎡以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。

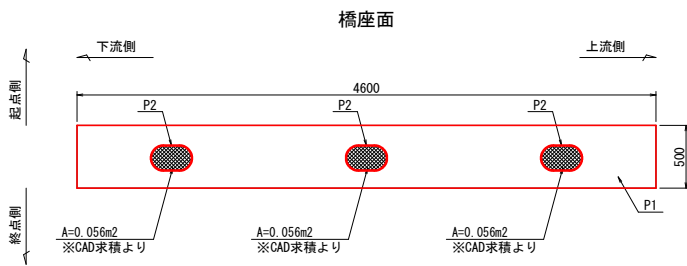
※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その 1 1）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	14 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その１２）

S=1:30

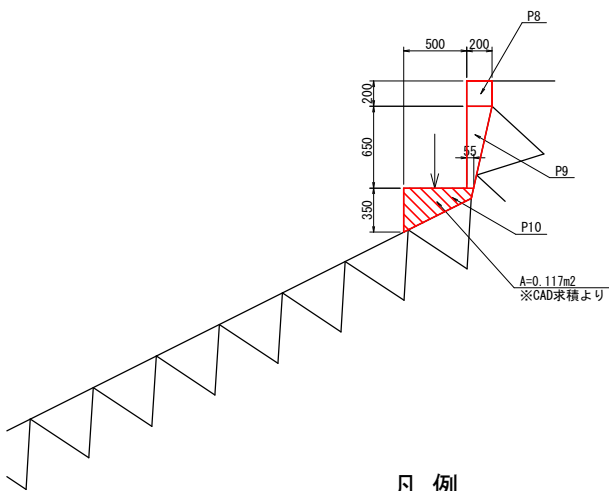
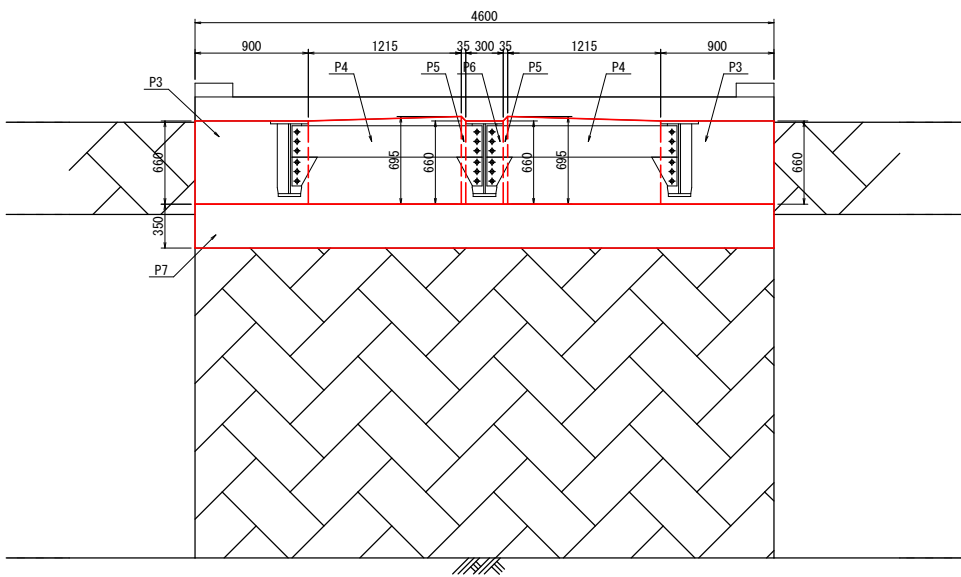
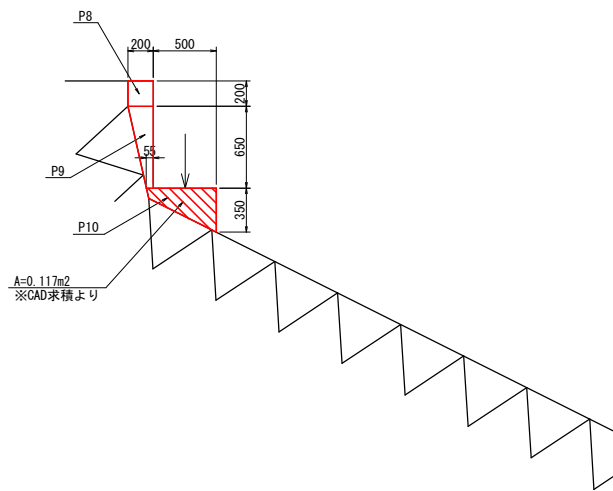
A1橋台
表面保護工



下流側

正面

上流側



凡例

P		表面保護工
		設置面
P0		補修工法・補修番号

- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/m²以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。



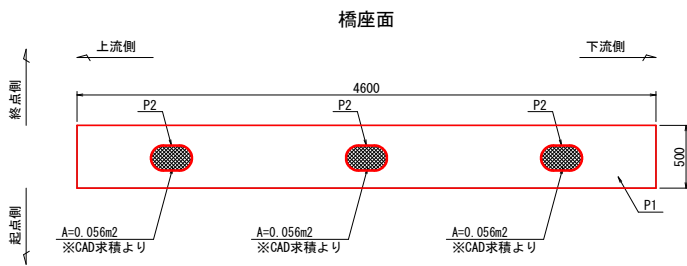
※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その１２）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	15 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その１５）

S=1:30

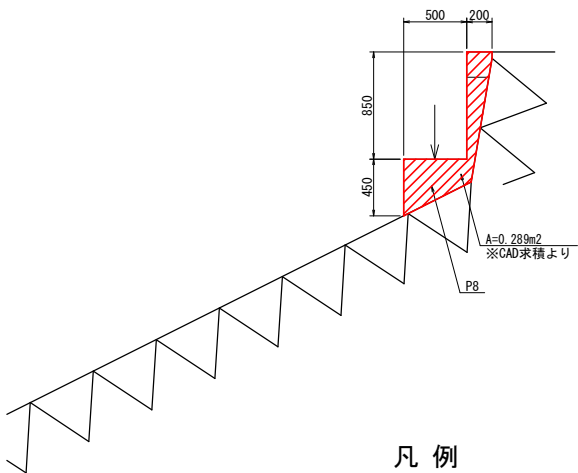
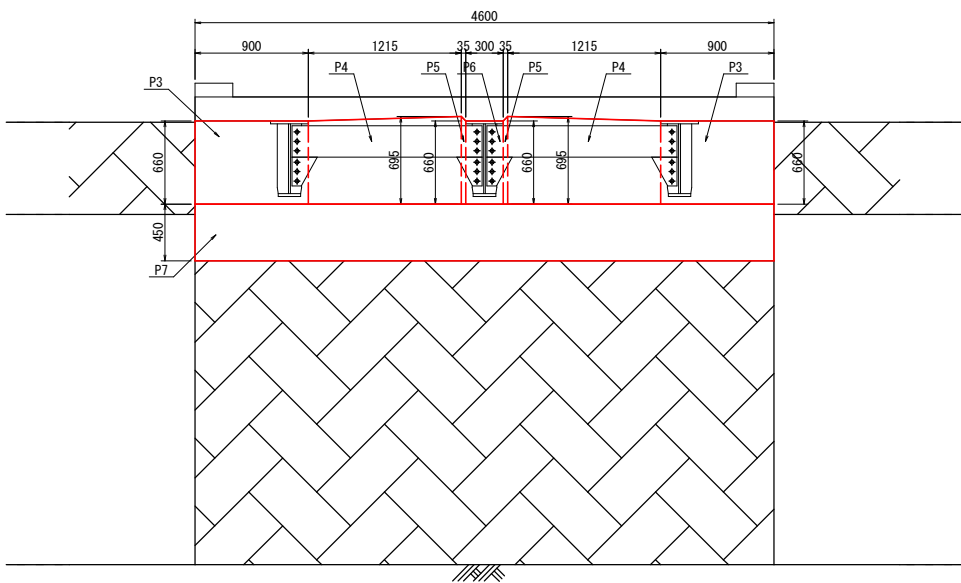
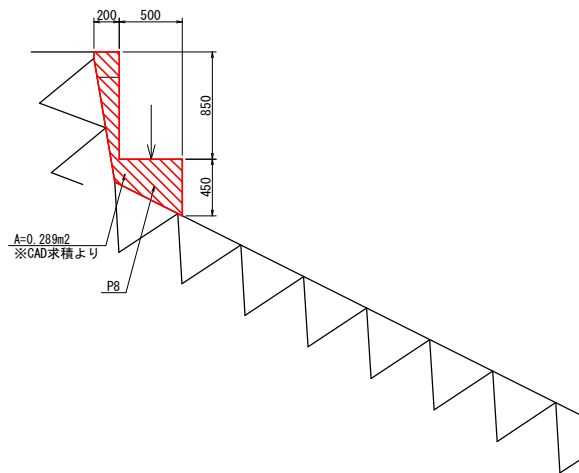
A2橋台
表面保護工



上流側

正面

下流側



凡例

P		表面保護工
		設置面
P0		補修工法・補修番号

- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/m²以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
- ※ 土砂堆積、植生等がある場合は、撤去を行うこと。



※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

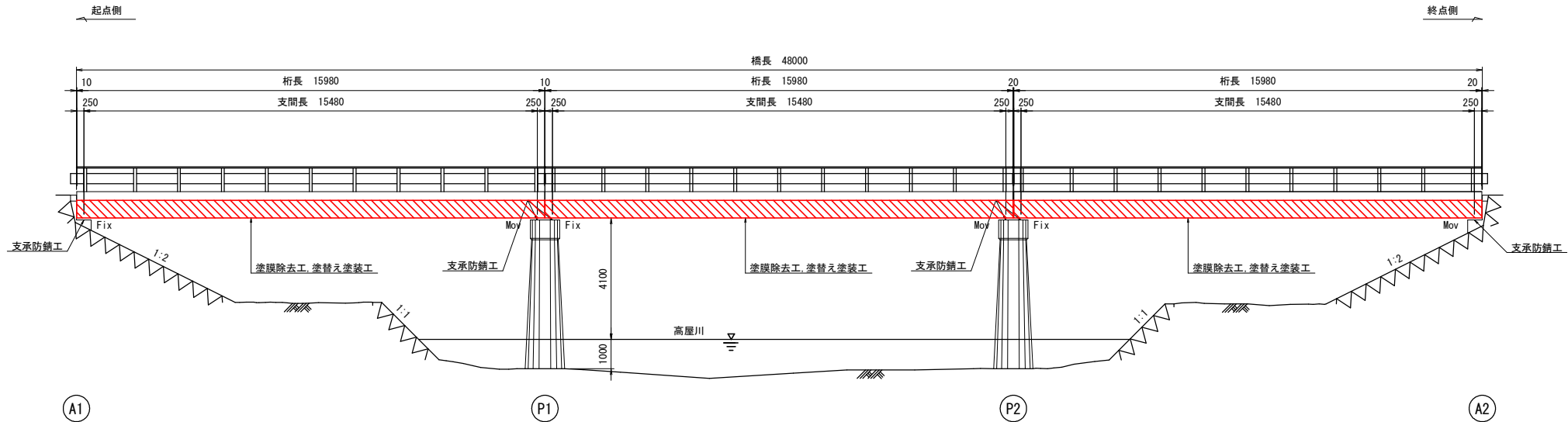
工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その１５）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	18 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その１６）

塗膜除去工, 塗替え塗装工, 支承防錆工

側面図

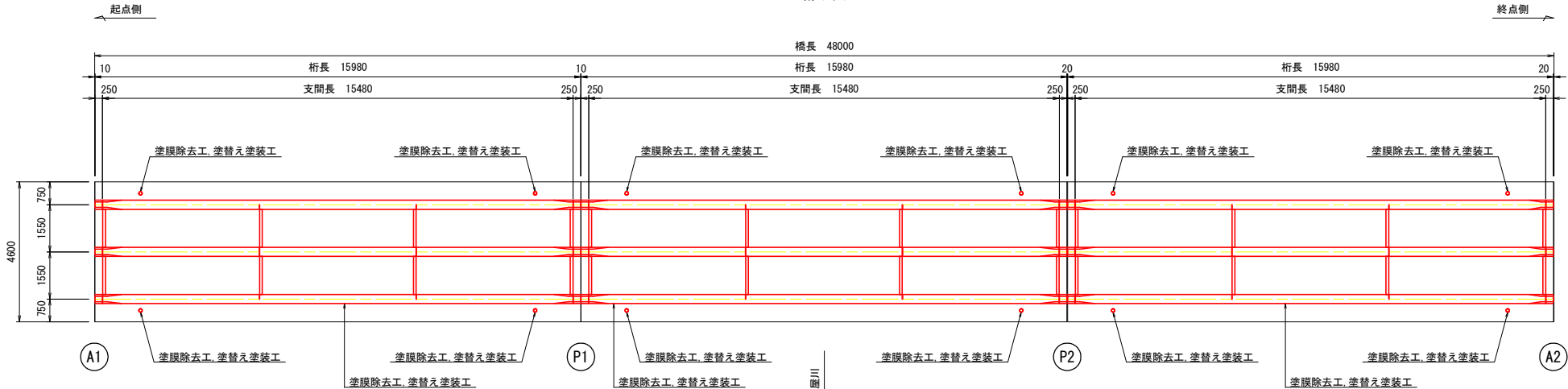
S=1:100



平面図

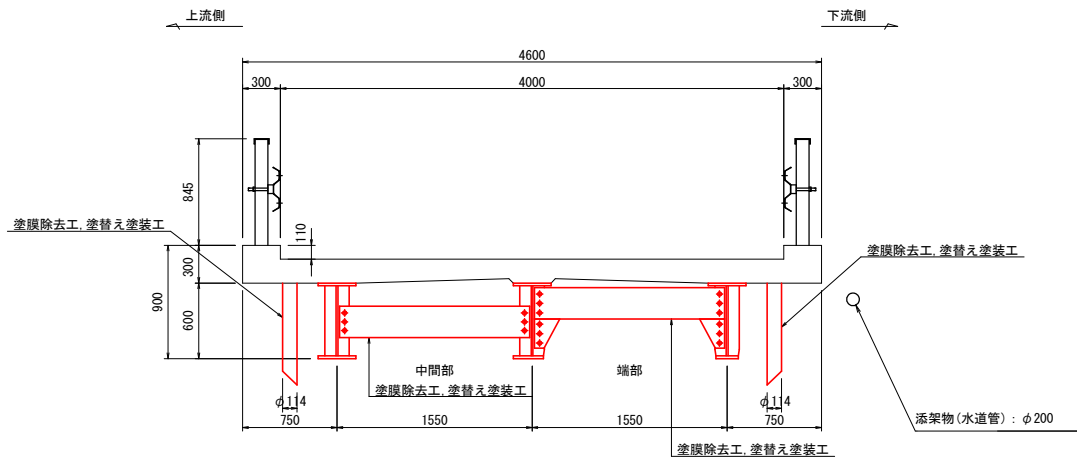
S=1:100

桁下面

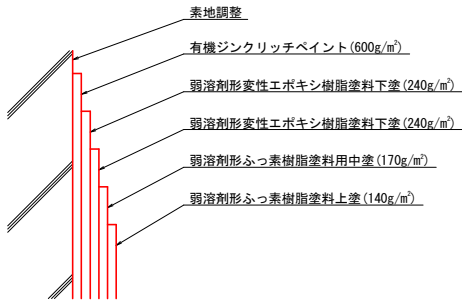


断面図

S=1:30



塗膜除去工, 橋梁塗装工
(参考図)



塗装仕様：Rc-I 塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- ※ 塗布量は標準使用量以上とすること。
- ※ 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- ※ 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

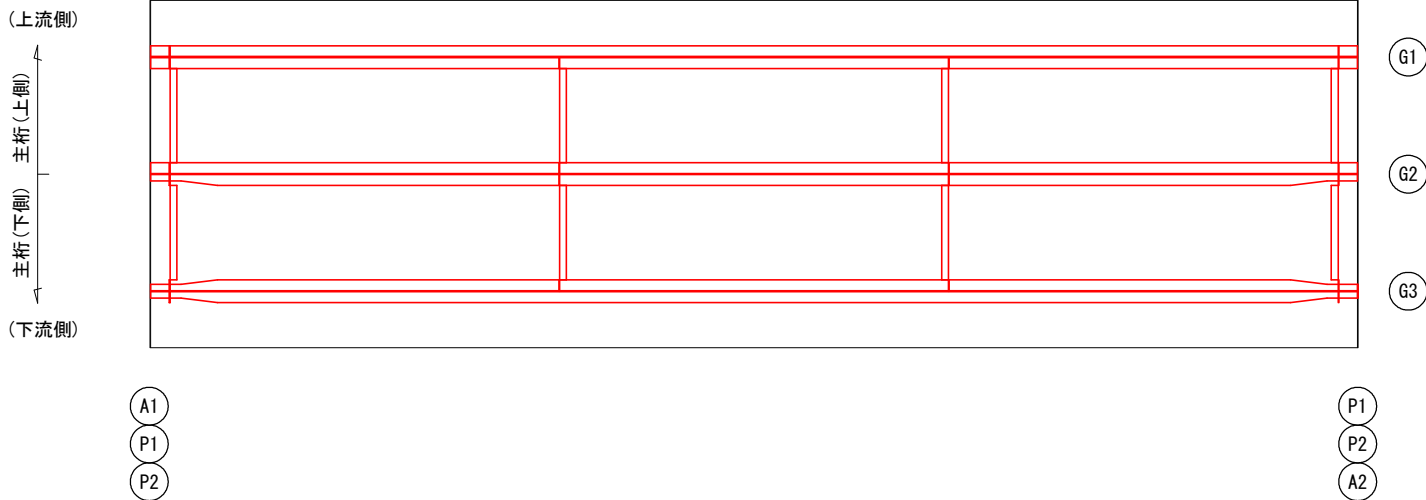
※この図面は縮小しています(原稿サイズ A1)

工事名	橋梁修繕工事(仲田橋)		
図面名	補修図(その１６)		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	19 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その 1 7）

塗膜除去工, 塗替え塗装工, 支承防錆工
第1径間～第3径間共通

桁下平面図 S=1:50

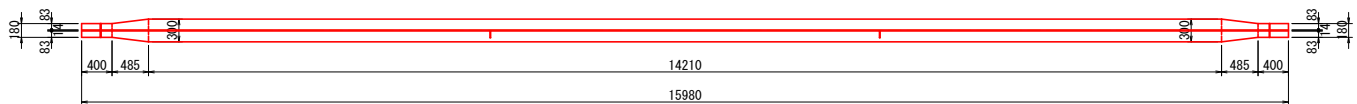


主桁 S=1:50

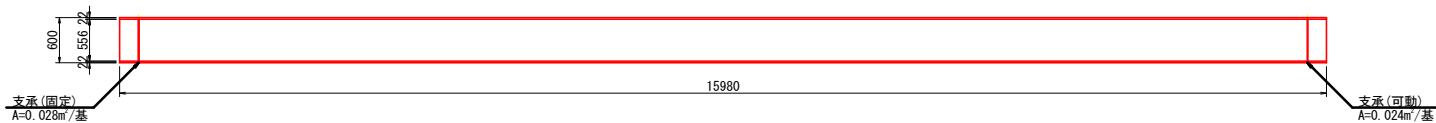
上フランジ



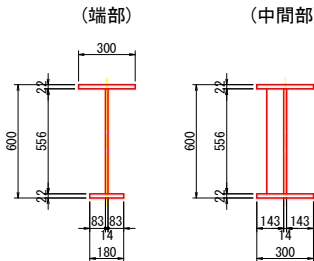
下フランジ



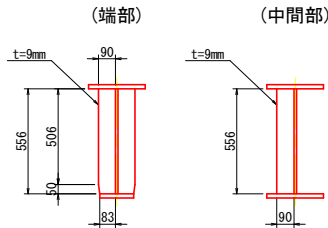
主桁側面図



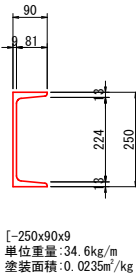
主桁詳細図 S=1:20



補剛桁詳細図 S=1:20

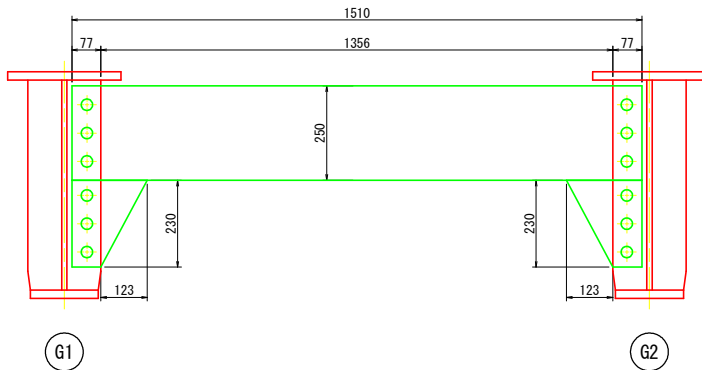


横桁詳細図 S=1:10

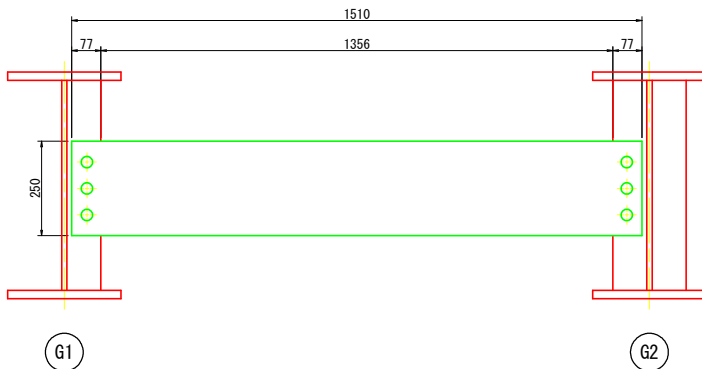


[-250x90x9
単位重量: 34.6kg/m
塗装面積: 0.0235m²/kg

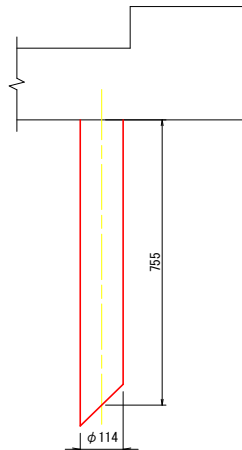
端横桁 S=1:10



中間横桁 S=1:10



排水管詳細図 S=1:10



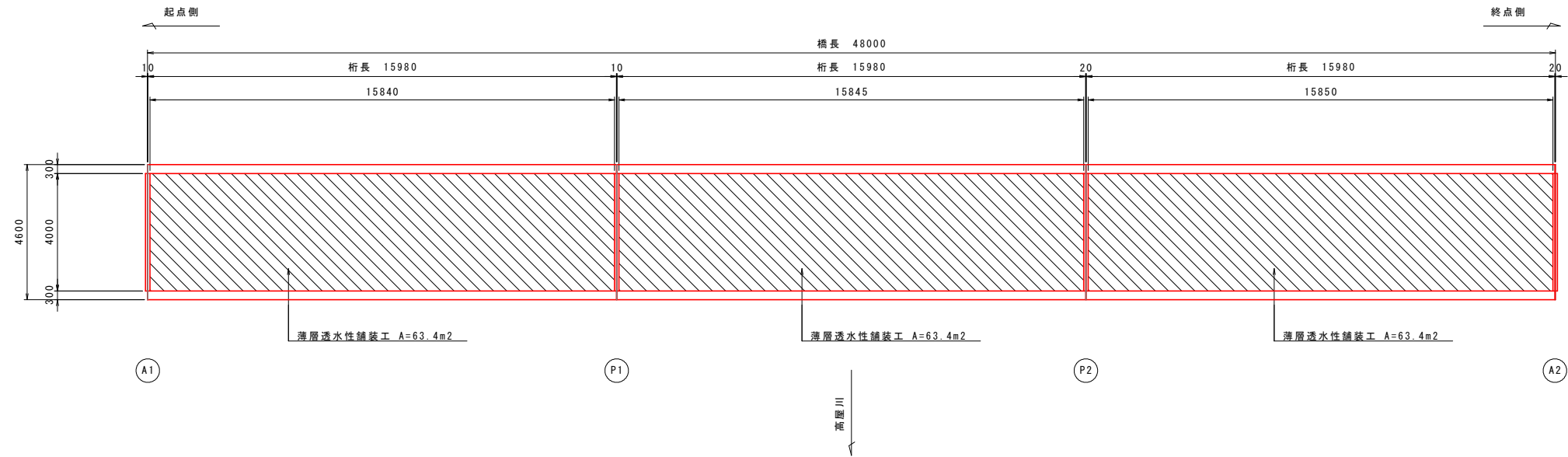
※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	補修図（その 1 7）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	20 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

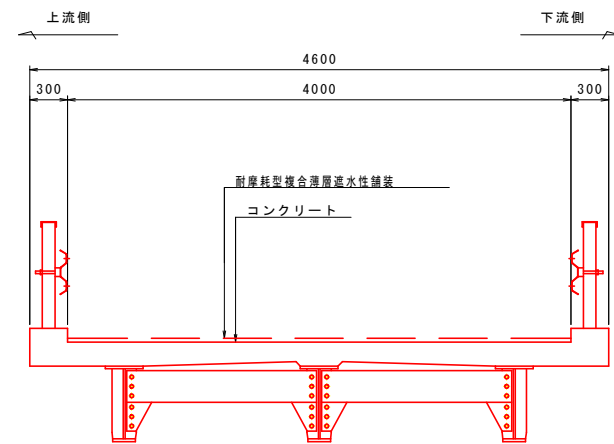
補修図(その18)

橋面改良工

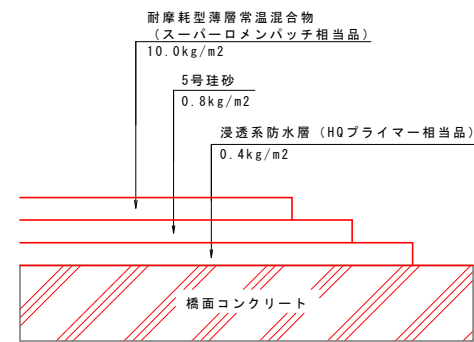
平面図 S=1:100



断面図 S=1:30



構成図



※この図面は縮小しています(原稿サイズ A1)

工事名	橋梁修繕工事(仲田橋)		
図面名	補修図(その18)		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	図示	図面番号	21 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

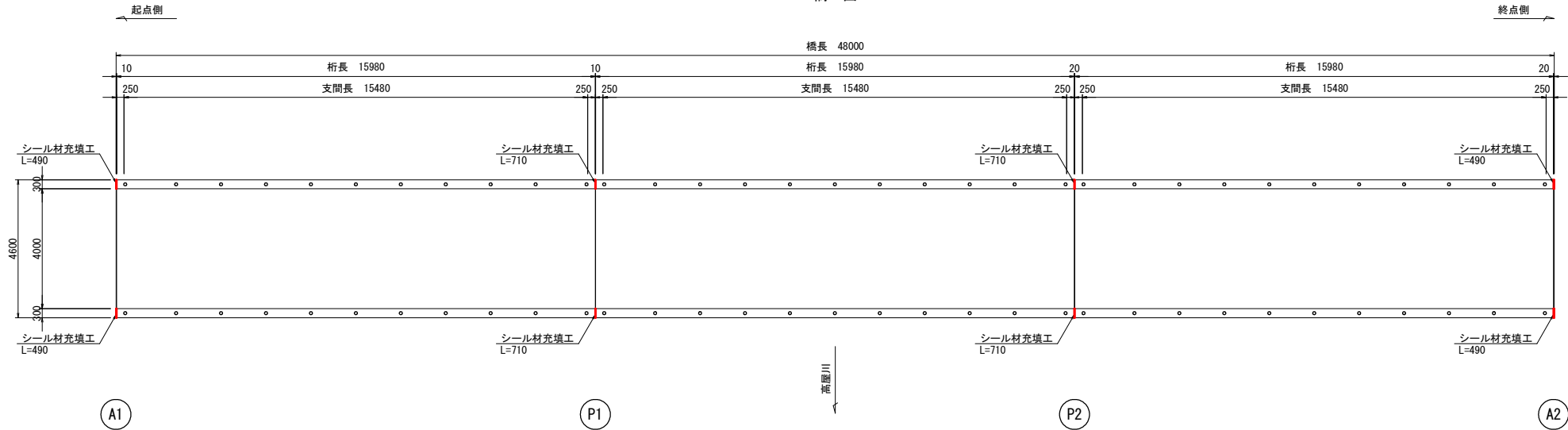
補修図（その１９）

シール材充填工

平面図

S=1:100

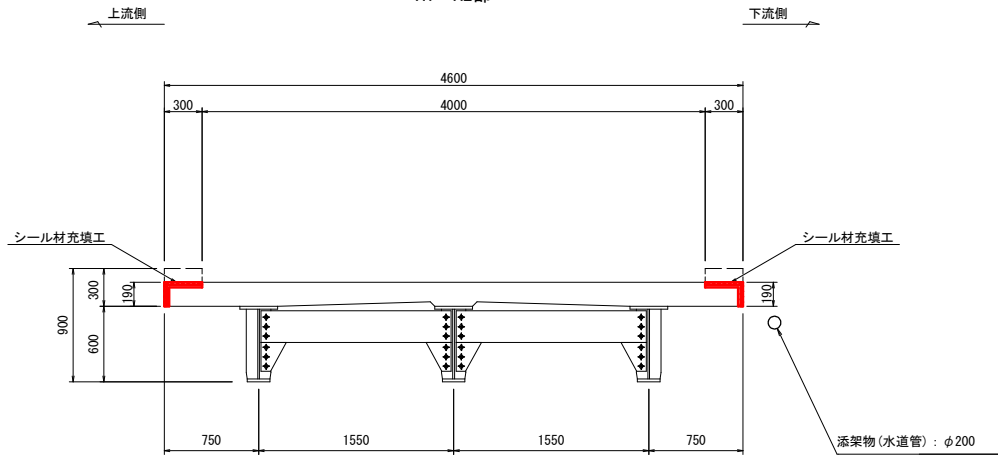
橋 面



断面図

S=1:30

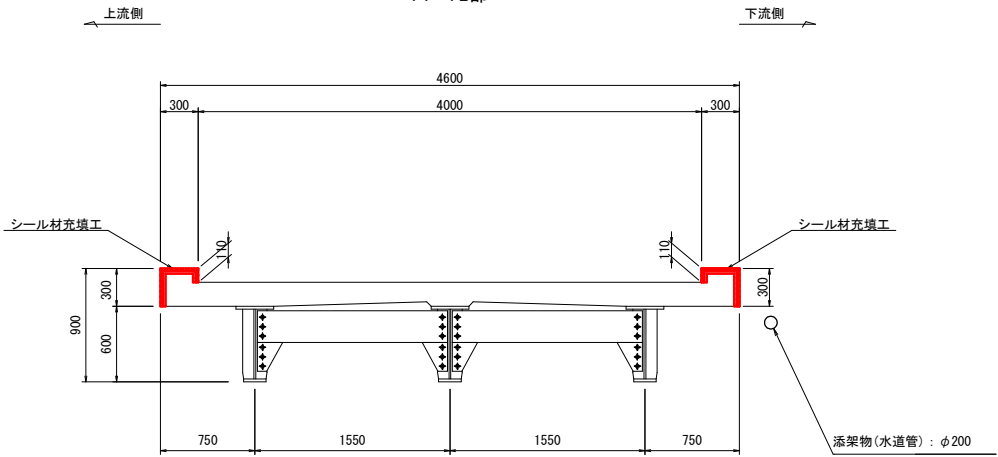
A1・A2部



断面図

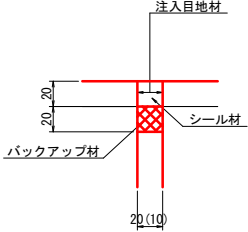
S=1:30

P1・P2部



シール材充填図

S=1:3



※ ①内数値は、A1・P1部を示す。

※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

伸縮部止水工(目地材充填)数量表

(1橋当り)

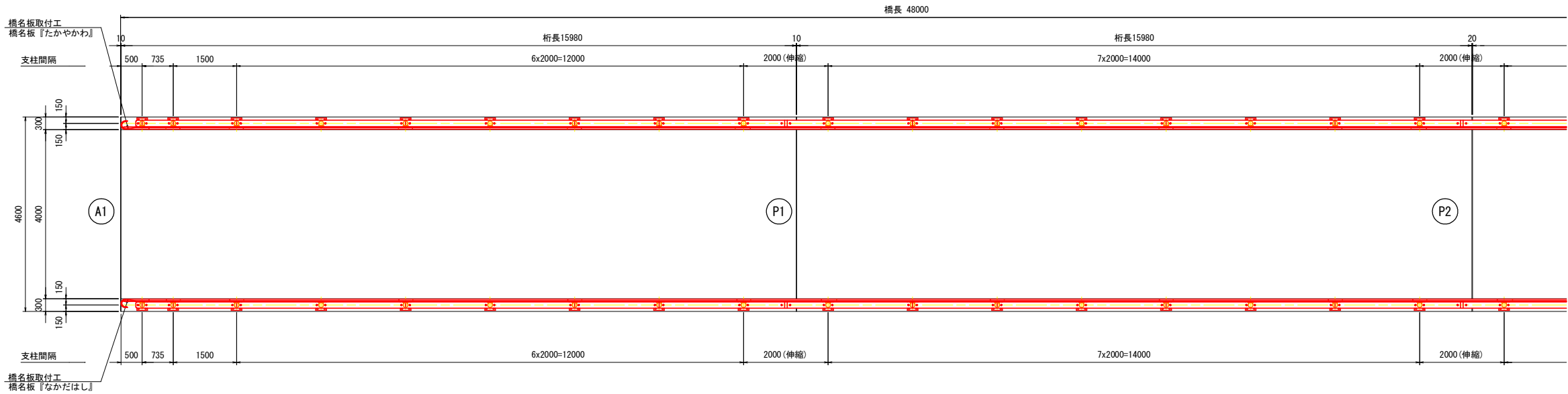
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
下地処理		m	4.800	
シール材充填工		m	4.800	
シール材	地覆・壁高欄部用シリコン系	L	1.440	
バックアップ材	ウレタンフォーム 20×20mm	L	1.920	

※この図面は縮小しています(原稿サイズ A1)

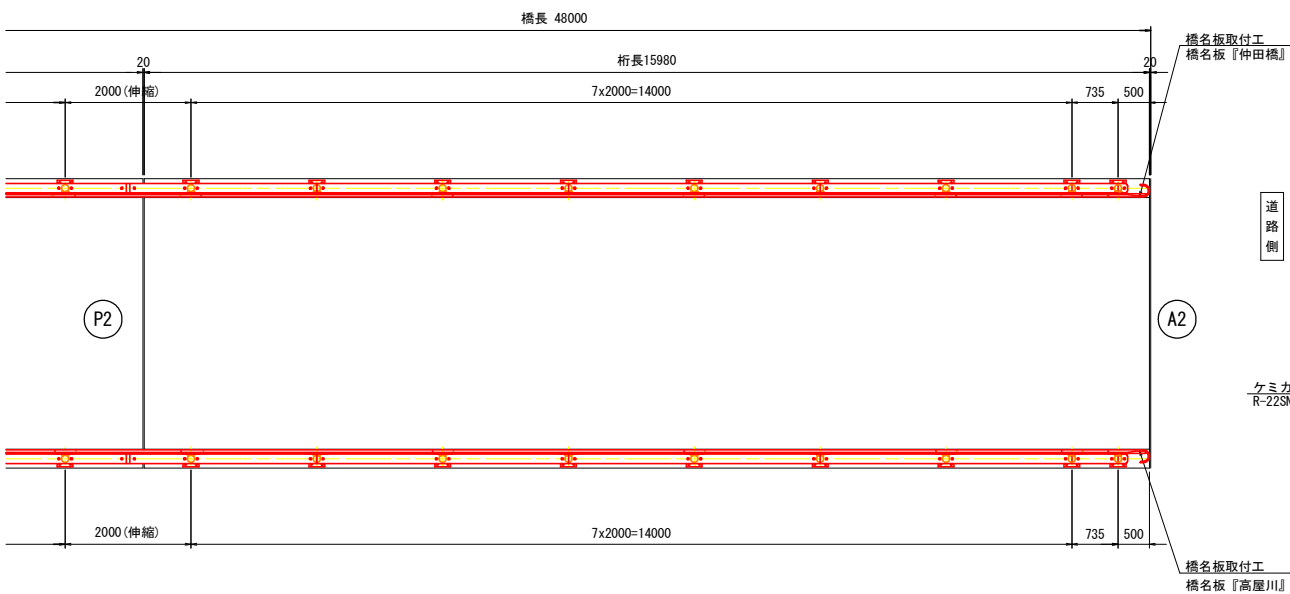
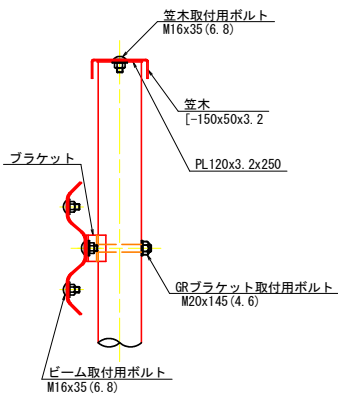
工事名	橋梁修繕工事(仲田橋)		
図面名	補修図(その19)		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	図示	図面番号	22 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

防護柵詳細図(その1)

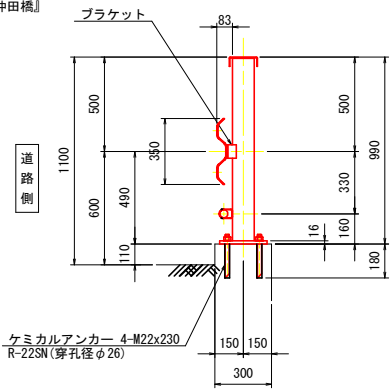
平面図 S=1:60



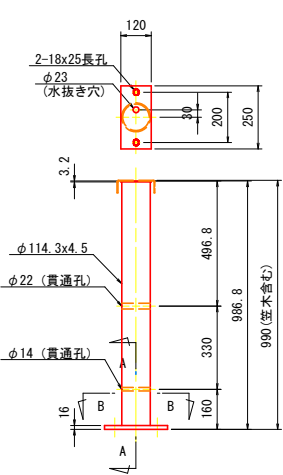
取付詳細図 S=1:10



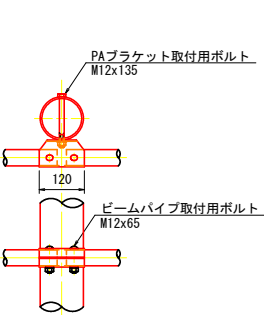
断面図 S=1:20



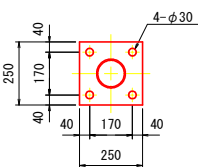
支柱 S=1:15



ビームパイプ取付詳細図 S=1:10



B-B 断面図



※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※この図面は縮小しています(原稿サイズ A1)

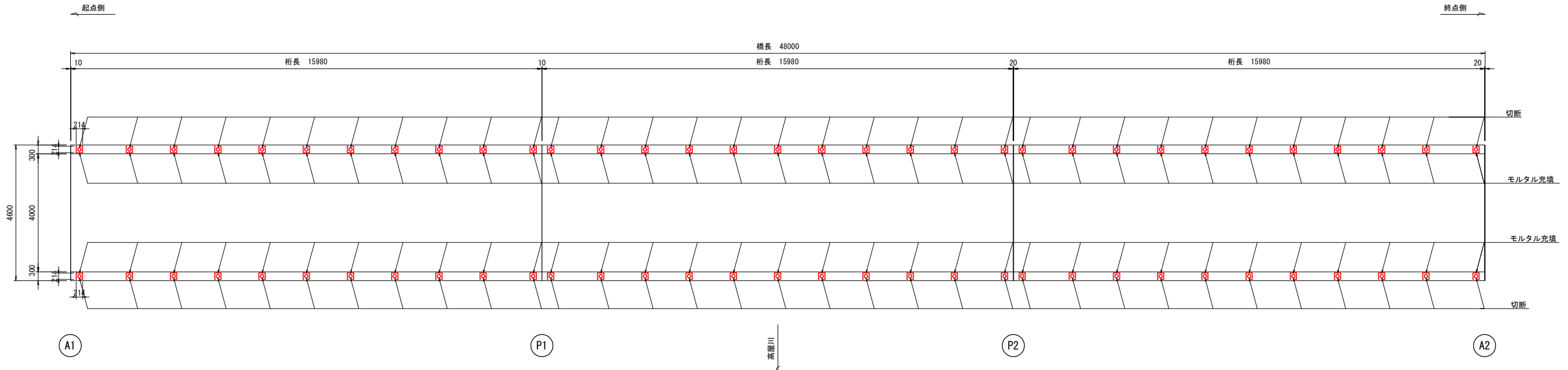
工事名	橋梁修繕工事(仲田橋)		
図面名	防護柵詳細図(その1)		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	図示	図面番号	23 / 25
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		



防護柵詳細図(その3)

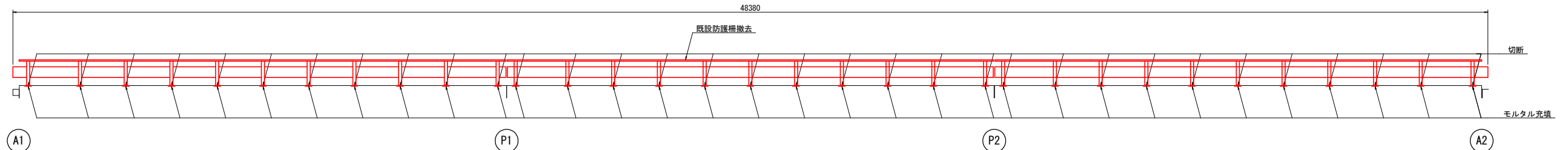
防護柵撤去平面図

S=1 : 75



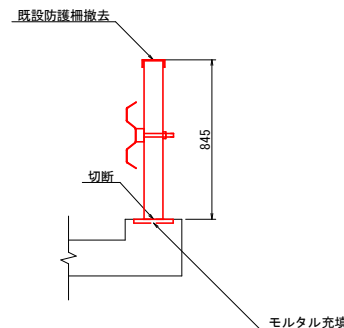
防護柵撤去側面図

S=1 : 75



防護柵撤去断面図

S=1 : 20



※この図面は縮小しています（原稿サイズ A1）

工事名	橋梁修繕工事（仲田橋）		
図面名	防護柵詳細図（その3）		
作成年月日	令和 8 年 8 月		
縮尺	図示	図面番号	25 / 25
会社名			
事業名	沼山市 神辺建設産業		



参 考 图 书

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m以下の場合

S1020035

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂3種 ボンドE2420相当品	0.109	kg			
シー ル材 エポキシ樹脂3種 ボンドE390相当品	0.329	kg			
注入器具 低圧注入器具相当品	4.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】 注入材(kg) C=2 【F】 シー ル材(kg) E=3 【F】 低圧注入器具(個)			B=0.109 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.24 シー ル材の設計数量(kg/構造物) F=4 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積0.772m3

単第0 -0002 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	21.616	人			
特殊作業員	40.916	人			
普通作業員	21.616	人			
コンクリート断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.911	m3			
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.772 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.772 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=4 【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

殻運搬

SPK26040155

単第0 -0003 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

1

39.03%

労務構成比:

46.18%

材料構成比:

14.79%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

m3

2,585.60000

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 E=1 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)			B=1 D=56 機械積込 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

頁0 -0004

表面被覆工
被覆材塗布

V000000100

單第0 -0004 表

高分子系浸透性防水材（アイゾールEX相当品）

100

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

塗替塗装
清掃・水洗い

SDT00029

单第0 -0005 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0006

塗替塗装

SDT00029

單第0 -0006 表

素地調整

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

塗替塗装		SDT00029		単第0 -0007 表		1		m2		当り	
下塗り塗装		防食下地									
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考					
昼間_塗替塗装【材工共】		1. 000	m2								
下塗り_有機ジングリッチペイント(2回/層)											
はけ・ローラー, 時間的制約なし		1	式								
諸雑費											
*** 単位当たり ***		1	m2								
A=1	昼間施工			B=4	下塗り塗装						
D=5	有機ジングリッチペイント(2回塗り/層)			H=1	-						
I=1	時間的制約なし										

施工単価表

頁0 -0008

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

单第0 -0008 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

单第0 -0009 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

单第0 -0010 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

路面洗淨工

V000000200

單第0 -0011 表

耐摩耗性型複合薄層遮水性舗装に伴う

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

耐摩耗型複合薄層遮水性舗装
1橋当り70m2以上

V000000300
スーパーロメンパッチDN工法

単第0 -0012 表

190 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.41	人			
特殊作業員	4.82	人			
普通作業員	7.23	人			
特殊乳剤・骨材 スーパーロメンパッチ相当品	506.66	組			
アクリル系浸透系防水材 HQプライマー相当品	79.80	kg			
珪砂 5号珪砂	159.60	kg			
雑材料	7	%			#09 材料費合計の7%
*** 合計 ***	190	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0013

シーリング材充填工

V000000400

单第0 -0013 表

箇所 当り

L=4.8m

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

防護柵撤去工(Gr)

SS000127

單第0 -0014 表

コンクリート建込

Ap, Bp, Cp (支柱間隔2m)

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK26040410

単第0 -0015 表

1

t

当り

クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊

片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)

機械構成比: 16.52%

労務構成比: 79.59%

材料構成比: 3.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 3,264.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	16.52%		トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級 吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	40.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.39%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	3.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=6	クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)		B=1 DID区間無し		

施工単価表

防護柵設置工
ベースプレート式

V000000500

単第0 -0016 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵設置費 ベースプレート式 笠木付 支柱H1025 Gr-C-2B-4L-BPL	96.0	m			単第0-0017 表
アンカー設置費 R-22SN相当品	208.0	箇所			単第0-0018 表
ガードレール ベースプレート式 笠木付 Gr-C-2B-4-BPL	96.0	m			
伸縮部加工費	4	箇所			
アンカー M22×230	208	組			
樹脂カプセル R-22SN相当品	208	本			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0017

防護柵設置費

V000000700

单第0 -0017 表

ベースプレート式 笠木付 支柱H1025

Gr-C-2B-4L-BPL

35

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

アンカー設置費
R-22SN相当品

V000000800

單第0 -0018 表

25

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

橋名板等取付

SPK26040294

単第0 -0019 表

橋名板 300×150×15

1 枚 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 8.28% 材料構成比: 91.72% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 50,381.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	7.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
橋名板 ブロンズ製, 150×300×15 国土交通省タイプ	91.72%		銘板 300×200×13		TTPCH0045 TTPT00210
積算単価			積算単価		EP001
A=1 橋名板 300×150×15					

施工単価表

頁0 -0020

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0020 表

桁高1.5m未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0021 表

1 m 2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0022 表

シート張防護工

両側朝顔

1

m 2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0023 表

工防護張板

兩側朝顏

m 2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

塗膜除去用養生シート工

V000000600

單第0 -0024 表

m2 当り

[illegible]

数量計算書

1. 数量総括表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
橋梁保全工事	構造物補修工	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工（低圧注入工法）	1構造物当り延べ延長	m	1.0	
			ひびわれ注入材	エポキシ樹脂系3種	kg	0.1	ロス率含む
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	0.3	ロス率含む
			注入器	低圧注入器	個	4.0	設置間隔：250mm間隔
		断面修復工 左官工	鉄筋ケレン・防錆処理を含む	1構造物当り修復延べ体積	m ³	0.8	
				ポリマーセメントモルタル	m ³	0.9	ロス率含む
			殻運搬	コンクリート殻 機械積込	m ³	0.8	
			殻処分	Con殻無筋	m ³	0.8	
					t	1.8	
		表面保護工 （表面被覆工）	下地処理工	サンダーケレン	m ²	349.8	
			被覆材塗布工	高分子系浸透性防水材	m ²	349.8	
			被覆材	アイゾールEX同等品以上	kg	91.8	ロス率含む
		塗膜除去工 湿式塗膜剥離剤	塗膜剥離工	湿式塗膜剥離剤工法	m ²	321.5	
			湿式塗膜剥離剤（1回分）	中性型水系剥離剤ECO STRIPPER同等品以上	kg	240.8	ロス率含む
			廃材の回収・積込		m ²	321.5	
			廃材運搬工		回	1.0	
			ペール缶		個	26	
			有害物質含有廃塗膜処分	旧塗膜	kg	369.4	
				剥離作業消耗品	kg	59.3	
		塗替え塗装工 Rc-Ⅰ塗装系	清掃・水洗い		m ²	324.8	
			素地調整	1種ケレン	m ²	324.8	
			防食下地	有機ジンクリッチペイント	m ²	324.8	
			下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m ²	324.8	
			下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m ²	324.8	
			中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m ²	324.8	
			上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m ²	324.8	
	舗装工	橋面改良工	下地処理工	路面洗浄	m ²	190.2	
			含浸材塗布工		m ²	190.2	
			含浸材	浸透系防水材	kg	79.9	標準使用量：0.40kg/m ²
			硅砂散布工		m ²	190.2	
			硅砂	5号硅砂	kg	159.8	標準使用量：0.80kg/m ²
			薄層常温混合物敷設工		m ²	190.2	
			薄層常温混合物	スーパーロメンパッチ同等品以上	kg	1902.0	標準使用量：10.00kg/m ²
		シール材充填工 （地覆）	下地処理	遊間部清掃	m	4.8	
			シール材充填工		m	4.8	
			シール材	地覆・壁高欄部用シリコン系	ℓ	1.6	ロス率含む
			バックアップ材	ウレタンフォーム	ℓ	1.9	
	橋梁付属物工	防護柵取替工	防護柵撤去工	撤去延長	m	96.8	
			既設ガードレール運搬	金属くず	t	2.0	
			既設ガードレール処分	金属くず	t	2.0	
		防護柵設置工	防護柵設置工	設置延長	m	95.9	
			支柱	φ114.3×4.5	本	52.0	
			ビームパイプ	φ42.7×2.3	m	95.7	
			笠木	[-150×50×3.2	m	94.5	
			橋梁用ビーム型防護柵	2.3×350×50	m	95.9	
			ケミカルアンカー	M22×230 R-22SN同等品以上	本	208.0	
			橋名板		枚	4.0	
	仮設工	仮設足場工	吊り足場	TYPE A1 吊足場 桁高h<1.5	m ²	206.9	
			床面シート張防護		m ²	341.9	
			朝顔	TYPE B 朝顔（両側）	m ²	220.7	
			防護工	TYPE B シート張防護工（両側）	m ²	220.7	
				TYPE B 板張防護工（両側）	m ²	220.7	
			塗膜除去用養生シート工		m ²	341.9	
		交通管理工	交通誘導警備員		人	34	
	安全費	安全衛生保護具	呼吸用保護具		台	3	
			呼吸用保護具フィルター		個	39	
			化学防護服		着	39	
			防護手袋		双	39	
			シューズカバー		足	39	

2. ひびわれ補修工

種別 部材	エポキシ樹脂 注入材3種
地覆(第1径間)	0.60 m
地覆(第2径間)	0.15 m
地覆(第3径間)	0.20 m
	— m
	— m
	— m
	— m
	— m
	— m
合 計	0.95 m

2-1. ひびわれ注入工（低圧注入工法）

(1) ひびわれ延長

1) エポキシ樹脂注入材3種

$$\bullet 0.2 \leq w < 0.5$$

$$L1 = 0.10 + 0.15 + 0.20 = 0.45 \text{ m}$$

$$\bullet 0.5 \leq w < 1.0$$

$$L2 = 0.50 = 0.50 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 0.95 \text{ m}$$

(2) シール材（エポキシ樹脂系） ※ロス率は「土木工事標準積算基準書」を参考とする
※比重は「ボンドE390相当品」を参考とする

$$w = 50 \text{ mm (仮定)}$$

$$t = 3 \text{ mm (仮定)}$$

$$\gamma = 1.70 \text{ (仮定)}$$

$$w1 = 0.95 \times 0.050 \times 0.003 \times 1700 = 0.24 \text{ kg}$$

$$w2 = 0.24 \times 0.37 = 0.09 \text{ kg}$$

$$\text{ロス率37\%} \quad \text{(ロス率含む)} \quad \Sigma W = 0.33 \text{ kg}$$

(3) 注入材

- 1) エポキシ樹脂注入材3種 ※ロス率は「コンクリートメンテナンス協会」を参考とする
※比重は「ボンドE2420相当品」を参考とする

・ $0.2 \leq w < 0.5$

$$\begin{aligned} w &= 0.35 \text{ mm (0.2~0.5mmの平均を仮定)} \\ t &= 70 \text{ mm (仮定) ※ひびわれ幅} \times 200 \text{ (コンクリートメンテナンス協会より)} \\ \gamma &= 1.15 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} w1 &= 0.45 \times 0.00035 \times 0.070 \times 1150 &= 0.013 \text{ kg} \\ w2 &= 0.01 \times 0.40 &= 0.005 \text{ kg} \\ &\text{ロス率40\%} \end{aligned}$$

・ $0.5 \leq w < 1.0$

$$\begin{aligned} w &= 0.75 \text{ mm (0.5~1.0mmの平均を仮定)} \\ t &= 150 \text{ mm (仮定) ※ひびわれ幅} \times 200 \text{ (コンクリートメンテナンス協会より)} \\ \gamma &= 1.15 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} w1 &= 0.50 \times 0.00075 \times 0.150 \times 1150 &= 0.065 \text{ kg} \\ w2 &= 0.07 \times 0.40 &= 0.026 \text{ kg} \\ &\text{ロス率40\%} & \text{(ロス率含む) } \Sigma W = 0.109 \text{ kg} \end{aligned}$$

(4) 注入器（低圧注入器）

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 0.95 / 0.25 = 4 \text{ 個}$$

2-2. ひびわれ延長数量計算書

[illegible]

3. 断面修復工

各かぶり厚・鉄筋径（参考）

・上部工かぶり厚：	26	（各かぶり厚）	26	（床版を採用）
・上部工鉄筋径：	13	（各鉄筋径）	13	
・橋脚かぶり厚：	41	（各かぶり厚）	41	
・橋脚鉄筋径：	16	（各鉄筋径）	16	
・橋台かぶり厚：	53	（各かぶり厚）	53	
・橋台鉄筋径：	8	（各鉄筋径）	8	
・地覆かぶり厚：	110	（各かぶり厚）	110	（地覆高）
・地覆鉄筋径：	13	（各鉄筋径）	13	（推定）

3-1. 左官工法（ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む）

$$v1 = 0.772 = 0.772 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.772 \times \frac{0.18}{\text{ロス率18\%}} = \frac{0.139 \text{ m}^3}{\Sigma V = 0.911 \text{ m}^3}$$

3-2. 殻運搬

$$V = 0.772 = 0.772 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

3-3. 殻処分（無筋コンクリート殻）

$$V = 0.772 = 0.772 \text{ m}^3$$

$$W = 0.772 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 1.814 \text{ t}$$

3-4. 左官工法 数量表

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	桁下面(第1径間)						
1		0.50 × 0.05	0.025	0.050	0.080	0.0013	
2		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
3		0.20 × 0.05	0.010	0.050	0.035	0.0005	
4		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
5		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
6		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
7		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
8		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
9		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
10		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
11		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
12		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
13		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
14		0.35 × 0.20	0.070	0.050	0.125	0.0035	
15		0.20 × 0.60	0.120	0.050	0.200	0.0060	
16		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
17		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
18		0.10 × 0.60	0.060	0.050	0.130	0.0030	
19		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
20		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
21		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
22		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
23		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
24		0.05 × 0.10	0.005	0.050	0.020	0.0003	
25		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
26		0.35 × 0.40	0.140	0.050	0.215	0.0070	
27		0.20 × 0.25	0.050	0.050	0.095	0.0025	
28		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
29		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
30		0.30 × 0.50	0.150	0.050	0.230	0.0075	
31		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
32		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
33		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
34		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
35		0.40 × 0.20	0.080	0.050	0.140	0.0040	
36		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
37		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
38		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
39		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
40		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
41		0.25 × 0.15	0.038	0.050	0.078	0.0019	
42		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
43		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
44		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
45		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
46		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
47		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
48		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
49		0.10 × 0.05	0.005	0.050	0.020	0.0003	
50		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
51		0.40 × 0.25	0.100	0.050	0.165	0.0050	
52		0.35 × 0.10	0.035	0.050	0.080	0.0018	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
53		0.25 × 0.30	0.075	0.050	0.130	0.0038	
54		0.05 × 0.30	0.015	0.050	0.050	0.0008	
55		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
56		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
57		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
58		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
59		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
60		0.20 × 0.40	0.080	0.050	0.140	0.0040	
61		0.20 × 0.40	0.080	0.050	0.140	0.0040	
62		0.10 × 0.40	0.040	0.050	0.090	0.0020	
63		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
64		0.30 × 0.65	0.195	0.050	0.290	0.0098	
65		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
66		0.30 × 0.50	0.150	0.050	0.230	0.0075	
67		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
68		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
69		0.30 × 0.05	0.015	0.050	0.050	0.0008	
70		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
71		0.10 × 0.80	0.080	0.050	0.170	0.0040	
72		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
73		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
74		0.20 × 0.40	0.080	0.050	0.140	0.0040	
75		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
76		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
77		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
78		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
79		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
80		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
81		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
82		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
83		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
84		0.40 × 0.20	0.080	0.050	0.140	0.0040	
85		0.15 × 1.10	0.165	0.050	0.290	0.0083	
86		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
87		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
	小計		2.942		6.012	0.1475	ケレン・防錆:有
D	桁下面(第2径間)						
1		0.35 × 0.10	0.035	0.050	0.080	0.0018	
2		0.35 × 0.10	0.035	0.050	0.080	0.0018	
3		0.35 × 0.10	0.035	0.050	0.080	0.0018	
4		0.50 × 0.20	0.100	0.050	0.170	0.0050	
5		0.50 × 0.30	0.150	0.050	0.230	0.0075	
6		0.30 × 0.80	0.240	0.050	0.350	0.0120	
7		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
8		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
9		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
10		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
11		0.30 × 0.40	0.120	0.050	0.190	0.0060	
12		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
13		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
14		0.10 × 0.70	0.070	0.050	0.150	0.0035	
15		0.50 × 0.90	0.450	0.050	0.590	0.0225	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
16		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
17		0.50 × 0.15	0.075	0.050	0.140	0.0038	
18		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
19		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
20		0.50 × 0.10	0.050	0.050	0.110	0.0025	
21		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
22		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
23		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
24		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
25		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
26		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
27		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
28		0.40 × 0.10	0.040	0.050	0.090	0.0020	
29		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
30		0.30 × 0.60	0.180	0.050	0.270	0.0090	
31		0.20 × 0.55	0.110	0.050	0.185	0.0055	
32		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
33		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
34		0.15 × 0.40	0.060	0.050	0.115	0.0030	
35		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
36		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
37		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.0023	
38		0.30 × 0.25	0.075	0.050	0.130	0.0038	
39		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
40		0.35 × 0.25	0.088	0.050	0.148	0.0044	
41		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.0023	
42		0.10 × 0.40	0.040	0.050	0.090	0.0020	
43		0.40 × 0.40	0.160	0.050	0.240	0.0080	
44		0.30 × 0.60	0.180	0.050	0.270	0.0090	
45		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
46		0.50 × 0.60	0.300	0.050	0.410	0.0150	
47		0.10 × 0.40	0.040	0.050	0.090	0.0020	
48		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
49		0.20 × 0.30	0.060	0.050	0.110	0.0030	
50		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
51		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
52		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
53		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
54		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
55		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
56		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
57		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
58		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
59		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
60		0.30 × 0.50	0.150	0.050	0.230	0.0075	
61		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
62		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
63		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.0023	
64		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
65		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
66		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
67		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
68		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
69		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
70		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
71		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
72		0.20 × 0.70	0.140	0.050	0.230	0.0070	
73		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
74		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
75		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
76		0.50 × 0.15	0.075	0.050	0.140	0.0038	
77		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
78		0.45 × 0.10	0.045	0.050	0.100	0.0023	
79		0.30 × 0.40	0.120	0.050	0.190	0.0060	
80		0.35 × 0.10	0.035	0.050	0.080	0.0018	
81		0.35 × 0.40	0.140	0.050	0.215	0.0070	
82		0.50 × 0.10	0.050	0.050	0.110	0.0025	
83		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
84		0.20 × 0.25	0.050	0.050	0.095	0.0025	
85		0.50 × 0.10	0.050	0.050	0.110	0.0025	
86		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
87		0.10 × 0.40	0.040	0.050	0.090	0.0020	
88		0.40 × 0.30	0.120	0.050	0.190	0.0060	
89		0.40 × 0.15	0.060	0.050	0.115	0.0030	
	小計		4.794		8.674	0.2403	ケレン・防錆:有
D	桁下面(第3径間)						
1		0.50 × 0.10	0.050	0.050	0.110	0.0025	
2		0.30 × 0.30	0.090	0.050	0.150	0.0045	
3		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
4		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
5		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
6		0.40 × 0.10	0.040	0.050	0.090	0.0020	
7		0.20 × 0.25	0.050	0.050	0.095	0.0025	
8		0.25 × 0.20	0.050	0.050	0.095	0.0025	
9		0.15 × 0.35	0.053	0.050	0.103	0.0026	
10		0.40 × 0.10	0.040	0.050	0.090	0.0020	
11		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
12		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
13		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
14		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
15		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
16		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
17		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
18		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
19		0.30 × 0.45	0.135	0.050	0.210	0.0068	
20		0.50 × 0.10	0.050	0.050	0.110	0.0025	
21		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
22		0.50 × 1.00	0.500	0.050	0.650	0.0250	
23		0.10 × 1.60	0.160	0.050	0.330	0.0080	
24		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
25		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
26		0.30 × 0.10	0.030	0.050	0.070	0.0015	
27		0.50 × 0.25	0.125	0.050	0.200	0.0063	
28		0.10 × 0.80	0.080	0.050	0.170	0.0040	
29		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
30		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
31		0.50 × 1.20	0.600	0.050	0.770	0.0300	
32		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
33		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.0023	
34		0.40 × 0.15	0.060	0.050	0.115	0.0030	
35		0.30 × 0.60	0.180	0.050	0.270	0.0090	
36		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
37		0.40 × 0.15	0.060	0.050	0.115	0.0030	
38		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
39		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
40		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
41		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
42		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
43		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
44		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.0023	
45		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
46		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.0023	
47		0.35 × 0.15	0.053	0.050	0.103	0.0026	
48		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
49		0.20 × 0.05	0.010	0.050	0.035	0.0005	
50		0.20 × 0.05	0.010	0.050	0.035	0.0005	
51		0.50 × 0.05	0.025	0.050	0.080	0.0013	
52		0.20 × 0.05	0.010	0.050	0.035	0.0005	
53		0.10 × 0.25	0.025	0.050	0.060	0.0013	
54		0.50 × 0.20	0.100	0.050	0.170	0.0050	
55		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
56		0.80 × 0.50	0.400	0.050	0.530	0.0200	
57		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
58		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
59		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
60		0.30 × 0.30	0.090	0.050	0.150	0.0045	
61		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
62		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
63		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
64		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
65		0.20 × 0.05	0.010	0.050	0.035	0.0005	
66		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
67		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
68		0.40 × 0.10	0.040	0.050	0.090	0.0020	
69		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
70		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
71		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
72		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
73		0.05 × 0.05	0.003	0.050	0.013	0.0001	
74		0.05 × 0.50	0.025	0.050	0.080	0.0013	
75		0.25 × 0.25	0.063	0.050	0.113	0.0031	
76		0.10 × 0.35	0.035	0.050	0.080	0.0018	
77		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
78		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
79		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
80		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.0015	
81		0.50 × 0.80	0.400	0.050	0.530	0.0200	
82		0.25 × 0.15	0.038	0.050	0.078	0.0019	
83		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
84		0.15 × 0.35	0.053	0.050	0.103	0.0026	
85		0.15 × 0.05	0.008	0.050	0.028	0.0004	
86		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
87		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.0023	
88		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
89		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
90		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
91		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
92		0.20 × 0.15	0.030	0.050	0.065	0.0015	
93		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
94		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.0011	
95		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
96		0.30 × 0.20	0.060	0.050	0.110	0.0030	
	小計		5.039		9.069	0.2515	ケレン・防錆:有
D	地覆(第1径間)						
1		0.10 × 0.20	0.020	0.050	0.050	0.0010	
2		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
3		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
	小計		0.060		0.150	0.0031	ケレン・防錆:有
D	地覆(第3径間)						
1		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
2		0.25 × 0.05	0.013	0.050	0.043	0.0006	
	小計		0.023		0.073	0.0011	ケレン・防錆:有
D	A2橋台						
3		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.0005	
4		0.10 × 0.05	0.005	0.050	0.020	0.0003	
	小計		0.015		0.050	0.0008	ケレン・防錆:有
D	A1橋台						
1		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
2		0.40 × 0.40	0.160	0.050	0.240	0.0080	
3		0.60 × 1.10	0.660	0.050	0.830	0.0330	
4		0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.0020	
5		0.60 × 0.65	0.390	0.050	0.515	0.0195	
6		0.60 × 0.60	0.360	0.050	0.480	0.0180	
7		0.30 × 1.00	0.300	0.050	0.430	0.0150	
8		0.15 × 0.35	0.053	0.050	0.103	0.0026	
9		0.30 × 0.75	0.225	0.050	0.330	0.0113	
10		0.35 × 0.40	0.140	0.050	0.215	0.0070	
11		0.30 × 0.30	0.090	0.050	0.150	0.0045	
	小計		2.458		3.453	0.1229	ケレン・防錆:有
D	P1橋脚						
1		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.0010	
2		0.10 × 0.15	0.015	0.050	0.040	0.0008	
	小計		0.035		0.090	0.0018	ケレン・防錆:有

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	P2橋脚						
1		0.25 × 0.10	0.025	0.050	0.060	0.0013	
2		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
3		0.15 × 0.10	0.015	0.050	0.040	0.0008	
	小計		0.055		0.140	0.0029	ケレン・防錆：有
鉄筋ケレン・防錆処理を含む合計			15.421		27.711	0.772	
合 計			15.421		27.711	0.772	

4. 表面保護工

4-1. 表面被覆工（高分子系浸透性防水材）

$$A = 349.787 \quad = 349.787 \text{ m}^2$$

(1) 下地処理工（サンダーケレン）

$$A = 349.787 \quad = 349.787 \text{ m}^2$$

(2) 被覆材塗布工

$$A = 349.787 \quad = 349.787 \text{ m}^2$$

(3) 被覆材 ※標準使用量及びロス率は「アイゾールEX相当品」を参考とする

$$w1 = 349.787 \times 0.25 \text{ kg/m}^2 \quad = 87.447 \text{ kg}$$

(標準使用量)

$$w2 = 87.447 \times 0.05 \quad = 4.372 \text{ kg}$$

ロス率：5%

$$\Sigma W = 91.819 \text{ kg}$$

4-2. 表面保護工 数量表

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m)	個数	面積 (m ²)	備 考
P	桁下面(第1径間)				
1		15.980 × 0.900	2	28.764	
2		15.980 × 1.250	2	39.950	
3		- $\pi/4 \times 0.110^2$	4	-0.038	
	小計			68.676	
P	桁下面(第2径間)				
1		15.980 × 0.900	2	28.764	
2		15.980 × 1.250	2	39.950	
3		- $\pi/4 \times 0.110^2$	4	-0.038	
	小計			68.676	
P	桁下面(第3径間)				
1		15.980 × 0.900	2	28.764	
2		15.980 × 1.250	2	39.950	
3		- $\pi/4 \times 0.110^2$	4	-0.038	
	小計			68.676	
P	地覆				
1		15.980 × 0.410	6	39.311	
2		- 0.250 × 0.250	52	-3.250	
	小計			36.061	
P	A1橋台				
1		4.600 × 0.500	1	2.300	
2		- 0.056	3	-0.168	CAD求積より
3		0.900 × 0.660	2	1.188	
4		$1/2 \times (0.660 + 0.695) \times 1.215$	2	1.646	
5		$1/2 \times (0.695 + 0.660) \times 0.035$	2	0.047	
6		0.300 × 0.660	1	0.198	
7		4.600 × 0.350	1	1.610	
8		0.200 × 0.200	2	0.080	
9		$1/2 \times (0.200 + 0.055) \times 0.650$	2	0.166	
10		0.117	2	0.234	CAD求積より
	小計			7.301	
P	P1橋脚				
1		3.500 × 1.000	1	3.500	
2		- 0.056	6	-0.336	CAD求積より
3		$1/2 \times \pi/4 \times 1.000^2$	2	0.785	
4		3.500 × 0.625	2	4.375	
5		3.500 × 0.071	2	0.497	
6		3.500 × 3.404	2	23.828	
7		1.571 × 0.625	2	1.964	
8		$1/2 \times (1.571 + 1.414) \times 0.071$	2	0.212	
9		$1/2 \times (1.414 + 1.948) \times 3.404$	2	11.444	
	小計			46.269	

[illegible]

5. 塗膜除去工

5-1. 塗膜除去工（湿式塗膜剥離工）

(1) 旧塗膜含有有害物質対策

$$A = \underset{\text{主桁・横桁}}{316.853 \text{ m}^2} + \underset{\text{支承}}{4.680 \text{ m}^2} = 321.533 \text{ m}^2$$

(2) 塗膜除去工（湿式塗膜剥離工）

$$A = 321.533 = 321.533 \text{ m}^2$$

(3) 湿式塗膜剥離剤 ※標準塗布量は「中性型水系剥離剤ECO STRIPPER相当品」を参考とする

※ロス率は「土木コスト情報」を参考とする

$$W = 321.533 \times \underset{\text{kg/m}^2}{0.700} \times \underset{\text{ロス率}}{1 \text{ 回塗り}} \times 1.07 = 240.828 \text{ kg}$$

(4) 廃材の回収・積込工

$$A = 321.533 = 321.533 \text{ m}^2$$

(5) 廃材運搬工

$$N = 1 = 1 \text{ 回}$$

(6) 旧塗膜処分（特定管理産業廃棄物：鉛含有廃棄物）

・現塗装塗膜仕様（推定）

下塗：鉛系さび止めペイント 標準塗布量：170g/m²

中塗：長油性フタル酸樹脂塗料中塗 標準塗布量：120g/m²

上塗：長油性フタル酸樹脂塗料上塗 標準塗布量：110g/m²

$$w1 = 321.533 \times (0.170 + 0.120 + 0.110) = 128.613 \text{ kg}$$

・湿式塗膜剥離剤

$$w2 = 240.828 \quad \quad \quad \begin{array}{r} = 240.828 \text{ kg} \\ \hline \Sigma W = 369.441 \text{ kg} \end{array}$$

・剥離作業消耗品

$$\text{全面マスク} : 0.80 \text{ kg/台} \times 3 \text{ 台} = 2.400 \text{ kg}$$

$$\text{フィルター} : 0.03 \text{ kg/個} \times 39 \text{ 個} = 1.170 \text{ kg}$$

$$\text{化学防護服} : 0.30 \text{ kg/枚} \times 39 \text{ 枚} = 11.700 \text{ kg}$$

$$\text{シューズカバー} : 0.06 \text{ kg/枚} \times 39 \text{ 枚} = 2.340 \text{ kg}$$

$$\text{防護手袋} : 0.07 \text{ kg/枚} \times 39 \text{ 枚} = 2.730 \text{ kg}$$

$$\begin{array}{l} \text{ペール缶} : 389.78 \text{ kg} \div 15 \text{ kg/個} = 25.985 \text{ 個} \\ \quad \quad \quad 1.50 \text{ kg/缶} \times 26 \text{ 缶} = 39.000 \text{ kg} \end{array}$$

$$w = 2.40 + 1.17 + 11.70 + 2.34 + 2.73 + 39.00 = 59.340 \text{ kg}$$

6. 塗替え塗装工

6-1 塗替え塗装工 (Rc- I 塗装系)

$$A = \begin{array}{ccccc} 316.853 & + & 4.680 & + & 3.253 \\ \text{主桁・横桁} & & \text{支承} & & \text{排水管} \end{array} = 324.786 \text{ m}^2$$

(1) 清掃・水洗い

$$A = 324.786 = 324.786 \text{ m}^2$$

(2) 素地調整 (1種ケレン)

$$A = 324.786 = 324.786 \text{ m}^2$$

(3) 防食下地 (有機ジンクリッチペイント 標準塗布量 : 300g/m² × 2層)

$$A = 324.786 = 324.786 \text{ m}^2$$

(4) 下塗 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 標準塗布量 : 240g/m²)

$$A = 324.786 = 324.786 \text{ m}^2$$

(5) 下塗 (弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 標準塗布量 : 240g/m²)

$$A = 324.786 = 324.786 \text{ m}^2$$

(6) 中塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 標準塗布量 : 170g/m²)

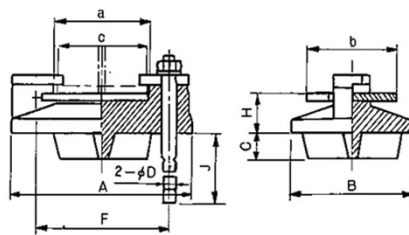
$$A = 324.786 = 324.786 \text{ m}^2$$

(7) 上塗 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 標準塗布量 : 140g/m²)

$$A = 324.786 = 324.786 \text{ m}^2$$

部位		参照番号		計 算 式		面数	個数	Net	塗装面積 (m ²)	適 用	
一般部（外面）											
主桁											
U.Flg.PL.	G1～G3	0.300	×	15.980		1	9	100%	43.146		
		-	0.014	×	15.980	1	9	100%	-2.013	Web.PL.との設置面	
Web.PL.	G1～G3	0.556	×	15.980		2	9	100%	159.928		
L.Flg.PL.	G1～G3	0.180	×	0.400		4	9	100%	2.592		
		1/2	×	(0.180 + 0.300)	×	4	9	100%	4.190		
		0.300	×	14.210		2	9	100%	76.734		
		-	0.014	×	15.980	1	9	100%	-2.013	Web.PL.との設置面	
V.St.PL.	G1～G3	0.090	×	0.506		2	36	100%	3.279		
		1/2	×	(0.090 + 0.083)	×	2	36	100%	0.311		
		-	0.077	×	0.250	1	24	100%	-0.462	[-250×90×9との接地面	
		0.090	×	0.556		2	24	100%	2.402		
		-	0.077	×	0.250	1	24	100%	-0.462	[-250×90×9との接地面	
		小計							287.632		
端横桁											
[		1.510	×	34.6kg/m	×	0.024m2/kg	1	12	100%	14.733	[-250×90×9
PL.		1/2	×	0.230	×	0.123	2	24	100%	0.679	
		-	0.077	×	0.250	1	24	100%	-0.462	V.St.PL.との設置面	
中間横桁											
[		1.510	×	34.6kg/m	×	0.024m2/kg	1	12	100%	14.733	[-250×90×9
PL.		-	0.077	×	0.250	1	24	100%	-0.462	V.St.PL.との設置面	
		小計							29.221		
		合計							316.853		
排水管											
Pipe.		π	×	0.1143	×	0.755	1	12	100%	3.253	
		小計							3.253		
		合計							3.253		

・ 支承面積については、推定反力から下表を参考にして算出を行った。



設 計 条 件						固 定 可動の 区 別	上部工との取合 寸法 mm			下部工との取合 寸法 mm						支 承 高 さ H mm	支 承 重 量 kgf	支 承 塗 装 面 積 m ²
全 反 力 tf	橋軸方向水平力 tf		橋軸直角 方向地震 時水平力 tf		計 算 移動量 mm		a	b	c	A	B	C	D	F	J			
	移動時	地震時	移動時	地震時														
30	6	10.8	5.4	2.25		固定	216	170	200	420	240	50	28	300	440	77	52.4	0.28
30	6	5.4	5.4	2.25	20	可動	216	190	200	420	240	50	28	300	440	77	52.9	0.24
40	8	14.4	7.2	3.0		固定	216	180	200	420	260	60	32	300	480	82	61.5	0.30
40	8	7.2	7.2	3.0	20	可動	216	200	200	420	260	60	32	300	480	82	62.1	0.26
50	10	18.0	9.0	3.75		固定	216	190	200	420	280	75	36	300	560	87	71.9	0.31
50	10	9.0	9.0	3.75	20	可動	216	210	200	420	280	75	36	300	565	87	72.5	0.27
75	15	27.0	13.5	5.63		固定	266	240	250	510	340	80	46	370	730	100	127.5	0.46
75	15	13.5	13.5	5.63	20	可動	266	250	250	510	340	80	42	370	640	100	121.5	0.38
100	20	36.0	18.0	7.5		固定	316	290	300	610	400	80	55	440	840	115	202.1	0.63
100	20	18.0	18.0	7.5	20	可動	316	300	300	610	400	80	50	440	760	115	191.1	0.52

7. 橋面改良工

7-1. 耐摩擦型薄層遮水性舗装工

(1) 下地処理工（路面洗浄）

$$\begin{array}{rcll} a1 & = & 63.400 & = 63.4 \text{ m}^2 \\ a2 & = & 63.400 & = 63.4 \text{ m}^2 \\ a3 & = & 63.400 & = 63.4 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma L & = & 190.2 \text{ m}^2 & \end{array}$$

(2) 含浸材塗布工（浸透系防水層）

$$A = 190.2 = 190.2 \text{ m}^2$$

(3) 含浸材（浸透系防水層）

$$W = 190.2 \times \underset{\text{標準使用量}}{0.40 \text{ kg/m}^2} \times (1 + \underset{\text{ロス率5\%}}{0.05}) = 79.884 \text{ kg}$$

(4) 硅砂散布工（5号硅砂）

$$A = 190.2 = 190.2 \text{ m}^2$$

(5) 硅砂（5号硅砂）

$$W = 190.2 \times \underset{\text{標準使用量}}{0.80 \text{ kg/m}^2} \times (1 + \underset{\text{ロス率5\%}}{0.05}) = 159.768 \text{ kg}$$

(6) 薄層常温混合物敷設工（耐摩耗型薄層常温混合物）

$$A = 190.2 = 190.2 \text{ m}^2$$

(7) 薄層常温混合物（耐摩耗型薄層常温混合物）

$$W = 190.2 \times \underset{\text{標準使用量}}{10.00 \text{ kg/m}^2} = 1902.0 \text{ kg}$$

8. シール材充填工

8-1. 地覆シール材充填工

(1) 下地処理 (遊間部清掃)

$$L = 0.490 \times 4 + 0.710 \times 4 = 4.800 \text{ m}$$

(2) シール材充填工

$$L1 = 0.490 \times 2 + 0.710 \times 2 = 2.400 \text{ m}$$

$$L2 = 0.490 \times 2 + 0.710 \times 2 = 2.400 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 4.800 \text{ m}$$

(3) シール材 (地覆・壁高欄部用シリコン系)

$$v1 = 2.400 \times 0.020 \times 0.010 \times 1000 = 0.480 \text{ } \ell$$

$$v2 = 2.400 \times 0.020 \times 0.020 \times 1000 = 0.960 \text{ } \ell$$

$$v3 = (0.480 + 0.96) \times 0.10 = 0.144 \text{ } \ell$$

ロス率10%

$$\Sigma V = 1.584 \text{ } \ell$$

(4) バックアップ材 (ウレタンフォーム)

$$\begin{array}{l} 20 \times 20 \text{ mm} \\ L1 = 2.400 + 2.400 = 4.800 \text{ m} \end{array}$$

$$V = 4.800 \times 0.020 \times 0.020 \times 1000 \text{ } \ell/\text{m}^3 = 1.920 \text{ } \ell$$

9. 防護柵取替工

9-1. 防護柵撤去工

・ 防護柵撤去延長

$$L = 48.380 + 48.380 = 96.760 \text{ m}$$

9-2. スクラップ運搬処分 ※スクラップ数量は想定数量とする

$$L = 2.0 = 2.0 \text{ t}$$

10. 防護柵取替工

10-1. 防護柵設置工

・ 防護柵設置延長

$$L = 47.970 + 47.970 = 95.940 \text{ m}$$

10-2. 支柱

φ114.3×4.5

$$N = 26 + 26 = 52 \text{ 本}$$

10-3. ビームパイプ

φ42.7×2.3

$$N = 47.870 + 47.870 = 95.740 \text{ m}$$

10-4. 笠木

[-150×50×3.2

$$L = 47.270 + 47.270 = 94.540 \text{ m}$$

10-5. 橋梁用ビーム型防護柵

2.3×350×50

$$L = 47.970 + 47.970 = 95.940 \text{ m}$$

10-6. ケミカルアンカー (R-22SN同等品以上)

M22×230

$$N = (26 + 26) \times 4 = 208 \text{ 本}$$

10-7. 橋名板

取替

$$n1 = 1 = 1 \text{ 枚}$$

新設

$$n2 = 3 = 3 \text{ 枚}$$

$$\Sigma N = 4 \text{ 枚}$$

11 仮設足場工

11-1. 吊り足場

- (1) 吊り足場 (桁高 $h < 1.5$ TYPE A1)

$$A = 14.995 \times 4.600 \times 3 = 206.931 \text{ m}^2$$

- (2) 床面シート張防護

$$A = 14.995 \times 7.600 \times 3 = 341.886 \text{ m}^2$$

- (3) 朝顔 (TYPE B 朝顔(両側))

$$A = 47.970 \times 4.600 = 220.662 \text{ m}^2$$

- (4) 防護工 (TYPE B シート張防護工(両側))

$$A = 220.662 = 220.662 \text{ m}^2$$

- (5) 防護工 (TYPE B 板張防護工(両側))

$$A = 220.662 = 220.662 \text{ m}^2$$

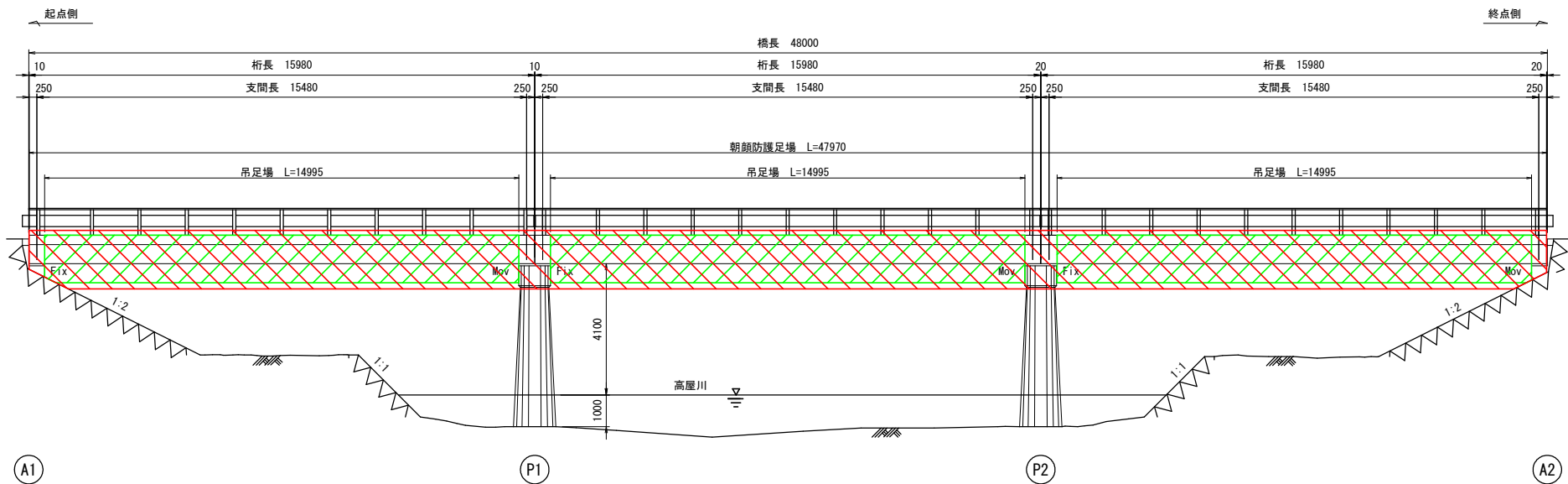
11-2. 湿式塗膜剥離剤工用養生設備

- (1) 湿式塗膜剥離剤工用養生シート工

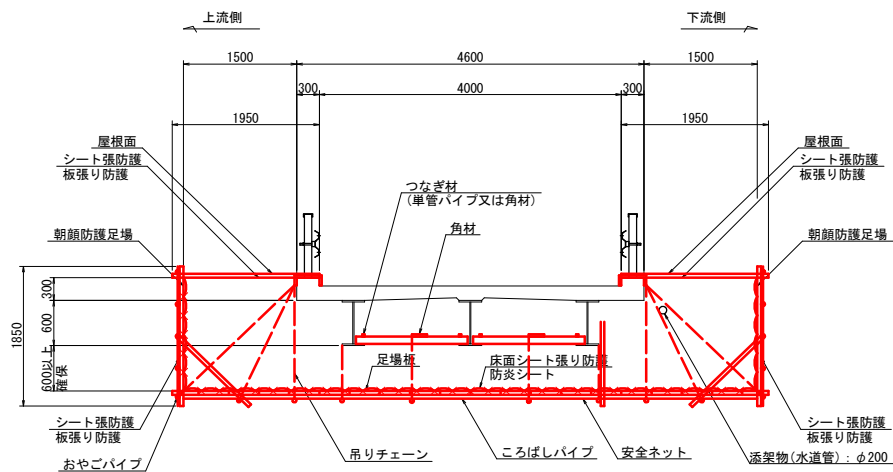
$$A = 14.995 \times 7.600 \times 3 = 341.886 \text{ m}^2$$

仮設足場図(参考図)

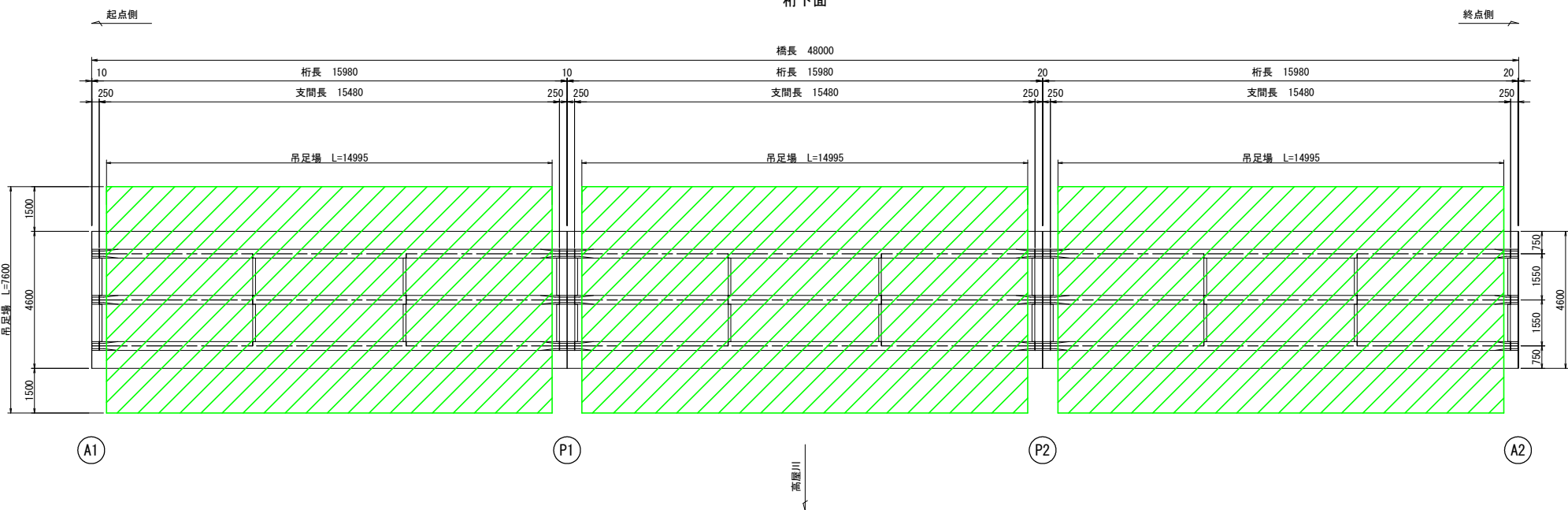
側面図 S=1:100



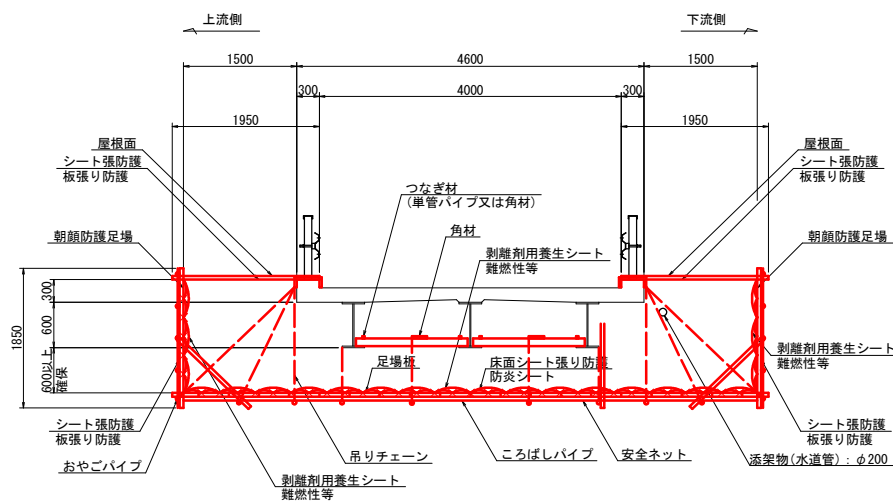
標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



湿式塗膜剥離工 施工時 S=1:50



凡 例	
	吊足場 (TYPE A1)
	朝顔防護足場 (TYPE B)

※この図面は縮小しています(原稿サイズ A1)

工事名	橋梁修繕工事(仲田橋)		
図面名	仮設足場図(参考図)		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		